



City of HIROSHIMA

平成 26 年版 (2014 年)

広島市勢要覧

平成 27 年 (2015 年) 3 月

目

contents

次

市長あいさつ	1
広島市の概要	2
各区の概要	3
広島 of 歴史	11
議決機関・執行機関	17
広島市総合計画	18
世界に誇れる「まち」の実現に向けて 一市政推進に当たっての基本コンセプト	19
核兵器廃絶に向けた取組	20
原爆被爆者	22
姉妹・友好都市	23
主要行事・イベント	24
ザ・広島ブランド、ひろしまそだち	26
世界一・日本一	28
名誉市民・特別名誉市民	29
主要年表	31
写真で振り返る市政この1年	34
統計で見る広島市	36
広島市統計プロフィール	46

市長あいさつ



広島市長 松井 一實

昨年は、日本創生会議などにより人口減少に関するショッキングなデータが次々と発表され、「地方創生」ということが日本全体の緊急課題であるという認識が深まった年だったと思います。「地方創生」のためには、各地域がその特色や特徴をいかしながら、いかにその地域の魅力を高めて人口減少に歯止めを掛けていくかということが重要になります。

このような状況の中で、本市では、広島を「世界に誇れるまち」にするために、「活力とにぎわい」、「ワーク・ライフ・バランス」、「平和への思いの共有」という三つの要素を柱にまちづくりを展開しています。

「活力とにぎわい」に関しては、広島南道路・広島高速3号線の開通や広島駅南口のBブロック・Cブロックの再開発工事の進展により都市機能が一段と充実・強化されました。

「ワーク・ライフ・バランス」に関しては、若者の雇用に関する施策推進のため「有給長期インターンシップ」モデル事業を開始するとともに、住宅団地の活性化など地域コミュニティの再生に向けた取組に着手しました。

「平和への思いの共有」に関しては、NPDJ（軍縮・不拡散イニシアティブ）広島外相会合を本市で開催するとともに、平和首長会議国内加盟都市会議を広島・長崎以外の地（長野県松本市）で初めて開催し、核兵器廃絶へ向けた体制強化を図りました。

昨年8月、本市は未曾有の豪雨災害に見舞われ、多くの方々が被災されました。一日も早い復興とともに、災害に強く、安全に安心して暮らせるまちの実現に向け、取組を進めています。

さらに、今年は被爆70周年に当たります。この節目の年を、被爆都市「ヒロシマ」の役割を再確認し、決意を新たに「平和への思いの共有」を体現する年とするとともに、これまでのまちづくりの成果を踏まえ、まちづくりの新たな一歩を踏み出す年と位置付け、広島の将来に向けた取組を進めてまいります。

こうしたまちづくりを着実に進めるためには、まずは本市の状況を客観的に把握することが重要です。その一助とするため、この度、本市の歴史や現状を一冊に分かりやすくまとめました。

この冊子を手にした市内外の多くの方々に、本市への理解を深め、素晴らしいまち「ひろしま」の魅力を再認識していただければ幸いです。

平成27年（2015年）3月

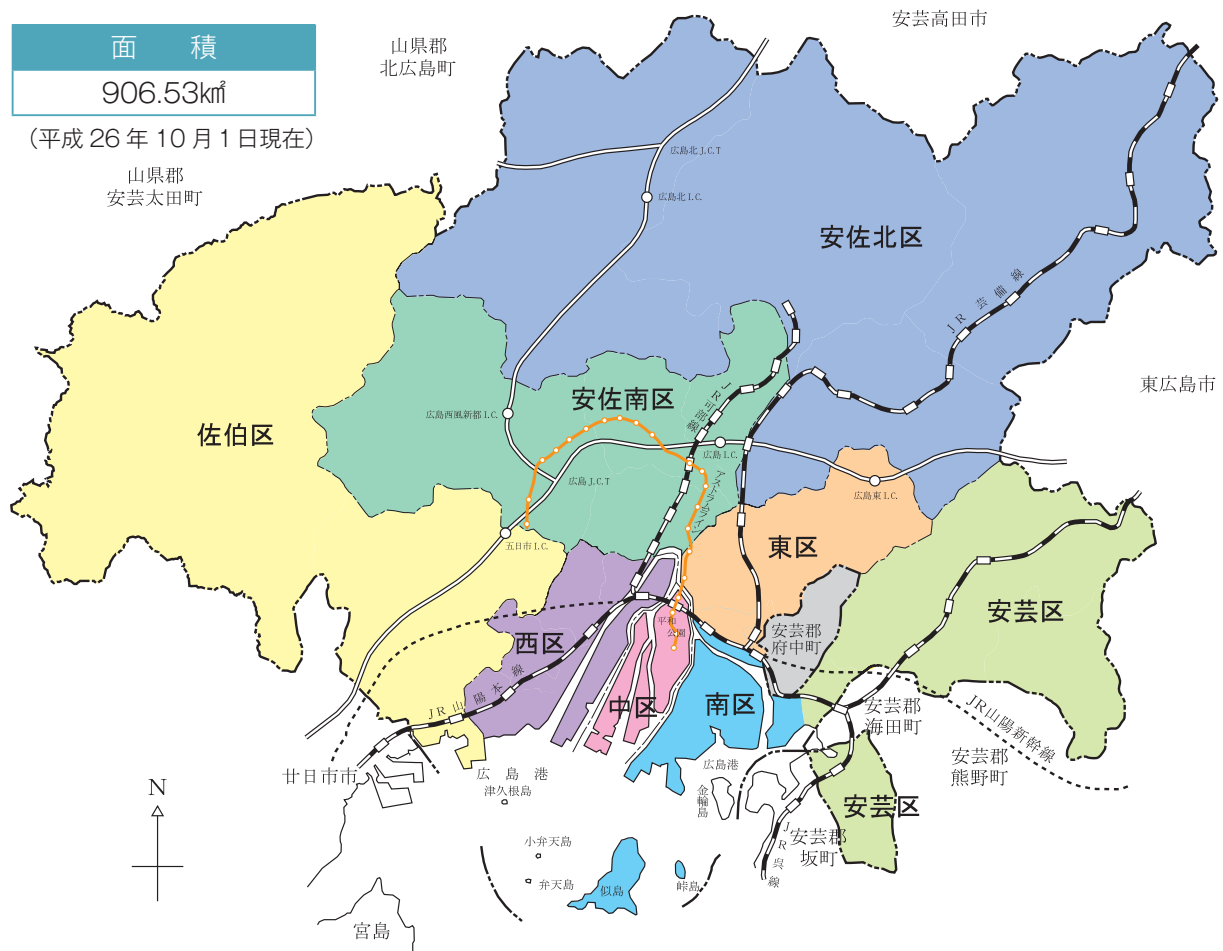
広島市の概要

人口	男	女	世帯
1,188,398 人	575,414 人	612,984 人	543,410 世帯

(平成 26 年 12 月末現在の住民基本台帳人口)

面積
906.53km ²

(平成 26 年 10 月 1 日現在)



中区

いき 生き 中区

人口 129,158人 世帯数 72,190世帯 面積 15.32km²

将来像

- 多彩な人・もの・情報が行き交うまち
- 身近な自然と歴史・文化が息づくうおいのあるまち
- 健康で快適に暮らせるまち
- コミュニティをはぐくむまち
- 安全・安心に暮らせるまち

- ◆ 太田川河口デルタ地帯の中央部に位置し、東は京橋川、西は天満川と接しており、中央には元安川と本川(旧太田川)が流れています。
- ◆ 中心部は、広島広域都市圏や広域経済圏の中心でもあり、紙屋町、八丁堀地区においてデパート、地下街、専門店等の商業施設や官公庁、銀行、企業の本・支店などが集積しており、バスセンター、市内電車、そして地下を走る新交通システム(アストラムライン)が多様な都市活動を支えています。また、平和記念公園や中央公園、平和大通りなどがあり、国際平和文化都市・広島象徴として個性のある都市景観を形成しています。
- ◆ 北部は高層アパートを中心とした住宅街で、東部には歓楽街があり、西部の十日市、舟入、南部の吉島、千田などの地区は住宅や商業および都市型中小企業が混在しています。また、南部の江波地区では、カキの養殖が行われています。



原爆ドームと平和記念公園



おもてなし市民交流プログラム



花づくり活動の支援



砂持加勢まつり

中区では、次の5つのまちづくりのテーマに基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1 地域力を高めるまちづくり

- **地域コミュニティの強化**
ワークショップの開催、講師の派遣などにより、町内会加入促進など地域力の向上に役立つ住民主体の活動を支援しています。
- **基町住宅地区の活性化**
地域住民、大学、行政等が連携し、基町住宅地区のコミュニティを再生し、活力のあるまちづくりを進めています。

2 にぎわいあるまちづくり

- **まちなかにぎわいづくり事業**
商店街、地域団体、行政などが連携・協働して、防災訓練、落書き対策、おもてなし市民交流プログラムなどに取組み、魅力と活力にあふれ、安全・安心に過ごせる中心部繁華街のまちづくりを進めています。
- **まちづくりワークショップの開催**
住民の皆さんで構成するワークショップを開催し、文化・歴史的資源など地域の魅力資源を活用した地域のにぎわいを創出する取組を進めています。

3 ふれあいのあるまちづくり

- **花づくりの活動の支援**
市民ボランティアグループによる道路、公園などの空き地での花づくり活動に対し、花の苗などの提供、講師の派遣などの支援を行っています。

4 地域の魅力を活用したまちづくり

- **砂持加勢まつりの開催**
江戸時代末期に実施された「砂持加勢」を再現することで、地域に対する愛着を深めるとともに、個性豊かで魅力あるまちづくりを進めています。
- **城下町広島ぶらりプロジェクト**
大学、まち歩き団体、商店街等と協力して、西国街道の散策を支援するアプリケーションを作成し、歴史・文化などの広島の魅力をもっとPRする取組を進めています。

5 安全・安心なまちづくり

- **大雨浸水対策の推進**
浸水時緊急退避マップの活用や、ポケット版防災マニュアルの作成配布などにより区民の防災意識を高める取組を進めています。

注：各区の人口・世帯数は、平成26年(2014年)12月31日現在のものです。
各区の面積は、平成26年(2014年)10月1日現在のものです。

人口 121,365 人 世帯数 55,008 世帯 面積 39.42km²

将来像

- ひ : 人が出会い、ふれあう、もてなしのまち
- が : がっちり固めた地域スクラムで築く安全で快適なまち
- し : 自然と人がやさしく共生するやすらぎのまち
- く : 暮らしの中に歴史・文化が息づくまち

- ◆ 都心市街地の北東に位置し、北東から南西に細長い地形で、全体的に丘陵や山麓が多く自然の緑地に恵まれた地域です。
- ◆ また、陸の玄関である JR 広島駅新幹線口に隣接し、北東部には山陽自動車道広島東インターチェンジを擁し、広域的な交通条件にも恵まれています。
- ◆ 地域構造としては、業務地と住宅地からなる西地区（尾長、二葉の里、牛田、戸坂、中山、矢賀）と、住宅地と点在する農地からなる東地区（福田、馬木、温品）に区分されます。
- ◆ 西地区には、JR 広島駅新幹線口周辺地区に商業ビルやホテルなどが立地する業務市街地とアストラムライン・JR 沿線に住宅地が形成されています。また、牛田山や二葉山など都心に近接した緑地空間が広がっており、そのふもと周辺には、国宝不動院金堂をはじめとする歴史的建造物などの資源も豊富で、これらをつぶルートは「二葉の里歴史の散歩道」として市民の散策の場となっています。
- ◆ 東地区は、県道広島中島線沿線の平地部や丘陵地の住宅地と点在する農地からなり、また、豊かな自然を生かした森林公園など大規模な公園を有するなど、自然にふれることのできるレクリエーションの場として親しまれています。



不動院金堂（国宝）



大学生を対象とした「エキキタ」フィールドワーク



聖光寺でのガイドの様子



乳幼児とのふれあい体験の様子

東区では、次の3つのまちづくりのテーマに基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1 もてなしのまちづくり

●エキキタ魅力発信プロジェクトの実施

広島の新たな玄関口として再開発が進む広島駅新幹線口周辺地区「エキキタ」のにぎわいを創出するため、地元住民や企業・商店等の事業者、大学等と協働して「エキキタ」の魅力や、食・人・モノを通し情報発信するなど、さまざまな取り組みをしています。

2 地域資源を生かしたにぎわいづくり

●「二葉の里歴史の散歩道」定期ガイドの実施

牛田新町の不動院～二葉の里～矢賀駅までの間に点在する由緒ある神社・仏閣や史跡などの文化遺産を結んだ「二葉の里歴史の散歩道」を、毎月28日の「ふたばの日」に、ボランティアガイドが無償で案内しています。

●「夏の夜、祈りと平和の夕べ」の実施

毎年8月6日の前夜、犠牲者の霊を慰め、世界平和を祈念して二葉の里にある七つの社寺の石灯籠や参道に千本のろうそくを灯し平和の夕べを行います。

●自然観察会と区民ハイキング

二葉山山麓には、日本最大とも言われるシリブカガシ（ブナ科）の群生地が広がっています。東区緑のボランティアの会が主催して秋にシリブカガシの観察会を実施しています。ほかにも春に中山でモリアオガエルの自然観察会、秋に牛田山ぐる～っとハイキングなども実施しています。

3 みんなで支え合う地域づくり

●「乳幼児とのふれあい体験」の実施

小・中学生や高校生、大学生が、生命の尊さや人が互いに支えあうことの大切さを実感できるよう、地域の子育てオープンスペースや子育て交流ひろば「ぼっぼひがし」の場を活用し、乳幼児やその保護者と交流するふれあい体験を実施しています。



南区

陸と海 人が行き交いふれあう みんなの南区

人口 140,902人 世帯数 68,400世帯 面積 26.30km²

将来像

- 陸と海の玄関の特色を生かしたにぎわいのあるまち
- 人と人のつながりを大切にし、みんなが支え合うまち
- 歴史と文化が息づき、心豊かになるまち
- 豊かな自然を愛し、環境を大切にすまち

- ◆ 太田川デルタの南東部を中心とした区域で、広島市の陸と海の玄関であるJR広島駅と広島港を有しています。似島や金輪島などの島しょ部を抱えるとともに、桜の名所として知られる比治山や黄金山があります。
- ◆ JR広島駅南口周辺地区は、広島東洋カープの本拠地マツタズームスタジアムの建設などにより、新たな賑わいを見せています。また、商業・業務・住居などの諸機能の集積を図るため、市街地再開発事業を進めています。
- ◆ 駅に近い段原地区では、大規模な再開発事業が完了し、新たなまちづくりが進められています。
- ◆ 広島港のある宇品・出島地区は、瀬戸内海の海上交通や、国際交流・交易の拠点としての役割を担っています。



海から望む南区



広島みなとフェスタ



南区七大伝説



自転車さんぽ(サイクリングプロジェクト)

南区では、次の3つのまちづくりのテーマに基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1 みなとのにぎわいづくり

●宇品のにぎわいづくり

広島港界わいの魅力をPRし、にぎわいを創出するため、「みなと」をテーマに「広島みなとフェスタ」を開催しています。

●似島の魅力づくり

似島地区では、離島振興法の指定を受けて、地域の皆さんと協働して「似島ホタルの里」や安芸小富士の登山道の整備などを行い、豊かな自然環境を生かした「島起こし」に取り組んでいます。

2 地域の宝づくり

●南区七大伝説を活用したまちづくり

区内に伝わる様々な伝説(「南区七大伝説」など)や風俗、風習などを南区百物語として発掘・活用し、地域住民がまちに誇りと愛着を持つことができるよう、魅力あふれるまちづくりを進めています。

3 ふれあいもてなしのまちづくり

●みなみ区自転車さんぽ

「みなみ区自転車マップ」を活用して、自転車のレクリエーションとしての新たな楽しみ方を提案するサイクリングプロジェクト「自転車さんぽ」を開催しています。

●みなみ区花いっぱい

地域ぐるみで花のある街並みを形成する「花いっぱい運動」など、地域の皆さんと協働して明るく住み良い快適なまちづくりを進めています。

地域等で育てている花づくり活動を紹介し、区全体に広める取組を進めるため、「南区お花じまんコンテスト」を開催しています。

西区

川風、潮風、緑の風 地域の力を 未来につなぐー西区

人口 188,507 人 世帯数 90,189 世帯 面積 35.61km²

将来像

- 海・山・川の自然や歴史・文化にふれることのできるうおいのまち
- 様々な人が集い、交流する、楽しさあふれるにぎわいのあるまち
- 人と人のつながりでつくる、みんながやさしい、安全・安心で快適なまち
- 産業の集積や交通拠点を生かした、人と物・情報が行き交う活動的なまち
- 一人一人が行動し、人にやさしい環境を未来に引き継ぐ美しいまち



天満川と太田川放水路

- ◆ 東を天満川、西を八幡川に挟まれた区域で、中央部には太田川放水路が流れています。宗箇山（三滝山）から鈴ヶ峰周辺に連なる山々に囲まれるなど豊かな自然に恵まれ、古江のイチジク、観音のネギ、草津の力キなどの特産品があります。また、かつての西国街道沿いの街並みや三瀧寺など歴史・文化資源も豊かです。
- ◆ 東部の三篠や大芝は住宅と商業・工業機能とが複合した市街地であり、中広町から「西風新都」に向けて広島高速 4 号線が通じています。また、西部の丘陵には住宅団地が形成されています。
- ◆ 己斐および横川は、交通ターミナル機能や商業機能を生かした地域拠点の役割を、また商工センターは、トラックターミナル、中央卸売市場や商業街区を擁する市の経済・流通拠点の役割を担っています。
- ◆ 北西部の竜王町には市の中心部を一望できる総合公園（竜王公園）が整備され、太田川放水路河川敷の運動公園（太田川緑地）とともに、身近な憩いの場として親しまれており、南東部の観音新町では、ヨットハーバー（観音マリナー）や商業施設が整備され、レジャー・レクリエーション空間が形作られています。



歴史散策会（三瀧寺 多宝塔）



西区やまなみハイキング（鈴ヶ峰山頂）



西区民まつり

西区では、次の4つのまちづくりのテーマに基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1 地域資源を活用したまちづくり

- 西区は、太田川放水路や天満川などの河川や、宗箇山（三滝山）、鈴ヶ峰などの山々に囲まれた自然豊かな地域で、西国街道や三瀧寺などの歴史や文化資源にも恵まれています。「歴史散策会」や「西区やまなみハイキング」など、地域の魅力を活用したまちづくりを進めています。

2 にぎわいのあるまちづくり

- 西区には、横川、己斐などの交通上重要な地区や井口・商工センターなどの流通の拠点が、人と物・情報が行き交っています。また、公園、広場、河川敷など大勢の人が集える場所がたくさんあります。「西区民まつり」など、これらを活用したにぎわいのあるまちづくりを進めています。

3 元気アップをめざしたまちづくり

- 少子・高齢化や、都市化の進展などによりコミュニティ意識の希薄化が、西区においても進んでいます。また、環境問題に対する区民の意識も高まっています。このような状況を踏まえ、健康で元気に暮せるまちづくりや人にやさしい環境を未来に引き継ぐ住みよい地域づくりを進めています。

4 住民が活動しやすいまちづくり

- 住民主体のまちづくりを推進する上での課題やニーズを把握し、適切な支援を行うなど、住民自らが活動しやすいまちづくりに取り組んでいます。

安佐南区

心がよわせ みんなでつくる 緑豊かなふるさと・安佐南

人口 239,695 人 世帯数 99,844 世帯 面積 117.24km²

将来像

- 都市の快適さと自然のゆとりが調和したまち
- 人と人のつながりを大切にし、笑顔と安心をつくり出すまち
- 土と緑に親しみ、自然の恵みと環境を大切にするまち
- 地域と大学の交流と連携をはぐくみ、学ぶ喜びがあふれるまち

- ◆ 広島市域の北西部に位置し、広島市で一番人口の多い区です。昭和 40 年代後半から昭和 50 年代にかけて山地部を中心に大規模な宅地開発が進むとともに人口が増大したため、都市基盤整備が急務となり、市の中心部から北西部に至る祇園新道・中筋沼田線や、トンネルで両地区を結ぶ高速 4 号線の開通、中四国地方初めての新交通システム(アストラムライン)の運行など道路交通網が整備されました。
- ◆ また、広島広域公園のある沼田地区では、「住み」「働き」「学び」「憩い」「護る」といった複合的機能を備えた、都市拠点である西風新都の整備を進めています。
- ◆ 一方、特産の広島菜の栽培などにみられるように、川内地区などは肥沃な農地が多く、市民への新鮮な野菜の供給地となっています。
- ◆ 都市化が進んだとはいえ、周辺には緑豊かな自然が多く残っており、こうした環境のなか大学や高校など多くの文教施設もあり、文教地区としての一面も有しています。



祇園新橋とアストラムライン



安佐南区役所「小さな音楽会」



安佐南区民交流駅伝大会



ボランティアによる海外援助米生産事業

安佐南区では、次の4つのまちづくりのテーマに基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1 地域への愛着と誇りが持てるまち

- 区内の魅力ある風景や大切にしたい歴史・文化などを発掘・選定し、まちの顔として守り育てるため、「安佐南区役所「小さな音楽会」」や「サンフレッチェ応援プロジェクト」、「ふるさと安佐南再発見事業」など、まちの顔づくり事業を進めています。

2 人と人のつながりを大切にするまち

- 「花いっぱい運動」や「区民まつり」、「区民交流駅伝大会」などの世代を越えた交流機会の確保を図り、区民のコミュニケーション形成を促進します。
- 子育てオープンスペースの設置・運営や高齢者の見守り活動、防犯・防災活動など、生活課題を住民が主体となって解決する活動を支援するとともに、担い手の発掘・育成に取り組んでいます。

3 土と緑に親しみ、自然の恵みと環境を大切にするまち

- 区内の農地や里山、森林を生かし、林業体験教室の開催や市民菜園の拡充など多様な農林業体験ができる場を確保するとともに、区内の農産物を使った料理教室の開催など食と農について学べる仕組みづくりを進めます。
- 農業への参画や都市・農村交流を促進し、農村の活性化を図るため、「ふれあい農業教室」や「ボランティアによる海外援助米生産事業」などを行います。
- 二酸化炭素吸収源としての役割もある森林への植樹活動など、地球環境問題について学ぶ機会の確保に取り組んでいます。

4 地域と大学の交流と連携により、元気あふれるまち

- 「あさみなみ区民大学」の運営や公開講座の開催など区内の大学と連携した区民の生涯学習の場の拡充に取り組めます。
- 学生などの地域行事やまちづくり活動への参加を促進するなど、地域と大学の交流と連携を深めています。



安佐北区

みんなが支え合う 自然と歴史の安佐北区

人口 150,355 人 世帯数 64,937 世帯 面積 353.33km²

将来像

- 自然をはぐくむ、うるおいのあるまち
- 歴史・文化が息づくまち
- 都市圏北部の拠点となるまち
- 支え合いの心が育つまち
- みどりの恵みが実るまち



太田川

- ◆ 安佐北区は、市の最北部に位置し、安芸太田町、北広島町、安芸高田市、東広島市と接しています。東西に 32.2km、南北に 19.7kmの広がりを持ち、面積は 353.3km²と8区の中で一番広く、市域の約4割を占めています。人口は約 15 万 1 千人です。
- ◆ 広島市と合併した旧安佐郡北部の安佐町、可部町、高陽町、旧高田郡白木町からなり、山地が多く、低地は、太田川、三篠川沿いに形成され、この低地に隣接して丘陵地がある豊かな自然環境に恵まれた区です。
- ◆ 主な水源は太田川、根谷川、三篠川であり、交通インフラとしてはJR可部線や芸備線、県北や山陰とを結ぶ一般国道 54 号、191 号、261 号、県道広島三次線などが走り、丘陵部では数多くの住宅団地が開発されています。



可部連山トレイルラン in あさきた

安佐北区では、次の5つのまちづくりのテーマに基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1 ふるさとの自然発見

●可部連山トレイルラン in あさきたの開催

山並み豊かな安佐北区の自然環境をスポーツの場としても親しみ、魅力を広げるため、広島県立南原峡自然公園の可部連山を走破するトレイルランニングを開催しています。

2 ふるさとの歴史・文化発見

●あさきた神楽発表会の開催

14 もの神楽団体が一堂に会して舞を披露する「あさきた神楽発表会」を開催し、安佐北区の神楽文化の魅力を区民が親しみ、継承していく気運を盛り上げています。

3 まちなか元気づくり

●高陽地区のにぎわい創出

高陽地区では、にぎわい創出の仕掛けづくりとして、将来を担う若者（中高生等）を引き入れ、地域活動団体・企業等とともに世代間交流による地域主体のまちづくりを進めています。

4 地域のきずなづくり

●あさきた元気フェスタの開催

安佐北区の魅力を集めた「あさきた元気フェスタ」を開催して、住民主体によるまちづくりを担うリーダーの掘り起こしや育成を図ることで、地域コミュニティの活性化を進めています。

5 実りの里づくり

●実りの里づくりの展開

地域住民と都市住民が協働で、花の植え付けによる景観づくりや農業・農村体験などに取り組むことで、自然の恵みや自然環境の大切さを学び体感できる環境づくりを進め、交流を深めています。



あさきた神楽発表会



農業体験（実りの里づくり）

人口 80,789 人 世帯数 34,433 世帯 面積 94.08km²

将来像

- 豊かな自然と共存したやすらぎのまち
- 安全で健康に暮らせる心温かいまち
- ふれあいと文化の薫る交流のまち
- 東部地域をつなぐ活力とにぎわいのあるまち

- ◆ 市の東部に位置し、旧安芸郡の瀬野川町・熊野跡村（現在の阿戸町）・船越町・矢野町からなっています。
- ◆ 瀬野川地区は、国道 2 号沿いに自動車や食品関係の工場が建ち並び、山間部では田園風景と新旧の住宅地をみることができ、新規の大規模住宅団地に住宅の建築が進んでいます。
- ◆ 阿戸地区は、面積の大部分が山林と農地で占められ、熊野川を中心に静かなたたずまいをみせるまちで、農業振興地域となっています。
- ◆ 船越地区は、安芸区で最も人口密度の高い地区で、沿岸部の工業地区と山地部寄りの住宅地区からなっています。
- ◆ 矢野地区は、平地部は昔ながらの住宅地、丘陵部は新興の住宅団地となっています。また、沿岸部では、完成した工業団地へ企業が進出しています。



中野砂走りの出迎いの松



安芸地区交流まつり



里山あーと村 森のジャズライブ



ハイキングコースの整備

安芸区では、次の 4 つのまちづくりのテーマに基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1 地域のきずなづくり

●安芸地区交流まつりの開催

安芸区は、隣接する府中町、海田町、熊野町、坂町と日常生活圏が一体化していることから、安芸地区の住民の交流を図るため、「安芸区民まつり」に合わせて「安芸地区交流まつり」を開催しています。まつりでは、安芸地区の高校の書道部による大書や和太鼓グループによる太鼓の共演など、さまざまな地域連携・交流を育んでいます。

●瀬野川健康ウォーキング

安芸区と海田町の住民の交流と健康づくりを推進するため、瀬野川の河川敷を活用して、ウォーキング大会を開催しています。

2 みんなでつくる元気なまち

●里山あーと村 ふるさと起こし

安芸区の阿戸地区の里山を活用し、都市と農村の住民交流を図るため、様々な農林業体験やイベントなどを行っています。

3 自然にふれるやすらぎの空間づくり

●絵下山お宝の山づくり

安芸区矢野町の絵下山の豊かな森林を守るため、市民ボランティアと一緒に、山の手入れを行っています。

4 ふるさと魅力活用

●ハイキングコースの整備、マップの作成

安芸区の里山を気軽に楽しむことができるよう、市民ボランティアと一緒に、ハイキングコースの整備やハイキングコースマップの作成を行っています。

●ふるさと散策の推進

市民ボランティアと一緒に、瀬野川流域の自然環境や西国街道沿いも歴史スポットを紹介する「瀬野川お散歩マップ」を作成するなど、地域の魅力資源を発信しています。

佐伯区

コラボシティ・佐伯区

人口 137,627人 世帯数 58,409世帯 面積 225.22km²

将来像

- 海・川・山、いで湯や歴史・文化を生かしたまち
- 安全・安心な暮らしを支え合うまち
- 人が集い交流する、うるおいのある元気なまち

- ◆ 市の西部に位置し、東は西区、安佐南区、安佐北区に、西は廿日市市に、北は安芸太田町に接しています。
- ◆ 区の南部は、清流八幡川沿いに広がった平野部が、極楽寺山・窓ヶ山・鈴ヶ峰などの山々で形成される山地部に取り囲まれています。北部は、太田川水系水内川が東西に貫流しており、上流では谷あいの平地に集落が点在し、下流はやや広がりを持った河川沿いの平地に比較的まとまった集落が形成されています。
- ◆ 区の南部には山陽自動車道、西広島バイパス、JR山陽本線、広島電鉄宮島線、国道2号が東西に走り、さらに、五日市旧港埋立てによる幹線道路の整備などにより、広島都市圏西部の拠点にふさわしいにぎわいのあるまちづくりが進められています。
- ◆ 一方、湯来地区は、広島の奥座敷として親しまれてきた「湯来温泉」や旧広島藩主浅野氏の湯治場でもあった「湯の山温泉」をはじめ、緑の山と清らかな水、澄んだ空気に象徴される恵まれた自然資源を有しています。



コイン通りと開運モニュメント



湯の山温泉・旧湯治場



佐伯区まちづくり百人委員会の活動



アートフェスタ佐伯区

佐伯区では、次の3つのまちづくりのテーマに基づいて、区民の皆さんとの対話などを踏まえ、区の地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを進めています。

1 地域資源を生かしたまちづくり

佐伯区は、海、川、山の自然環境や歴史、文化、温泉等の地域資源を生かしたまちづくりを進めています。

●湯の山温泉・旧湯治場の利活用促進

国重要有形民俗文化財「湯ノ山明神旧湯治場」のある湯の山温泉一帯の魅力を広く発信し、来訪者を増やす取組を行っています。

2 地域力を高めるまちづくり

住民が主体的に活動し、地域コミュニティをはぐくみ、支えあうまちづくりを進めています。

●町内会の加入促進

地域コミュニティの活性化や住民同士の共助意識の育成につながる取組を行っています。

●佐伯区まちづくり百人委員会

住民が主体的にまちづくり活動を進める「佐伯区まちづくり百人委員会」を設け、花づくり、高齢者、商店街、町内会、湯来・湯の山温泉街道をテーマに取組を行っています。

3 人が集い交流するまちづくり

イベント、祭りなどの地域活動、観光の振興などを進め、活発な交流やにぎわいのあるまちづくりを進めています。

●アートフェスタ佐伯区の開催

区内の音楽家によるステージやコンサート、画家の作品を展示するまちかどギャラリーを開催し、芸術文化の発表や鑑賞の場を増やす取組を行っています。

広島の歴史

原始・古代

現在、市街地がある太田川下流域は、ほとんどが海中にあり、牛田・矢野・五日市や広島湾に浮かぶ島であった比治山に縄文時代の遺跡が、また、中小河川による沖積地を見下ろす丘陵を中心に、市内各地域に弥生時代の遺跡があります。

古墳時代前期になると、口田の中小田古墳群、緑井の宇那木山古墳群、神宮山古墳群など太田川流域に大型の古墳が築造されるようになり、後期になると可部や白木などの内陸地域でも古墳が盛んにつくられるようになりました。

律令制度下の地方政治は国府を中心に行われていました。

安芸国では西条（東広島市）又は府中（安芸郡府中町）に国府が設けられ、平安時代中期には既に府中にあったとされています。白木の三田郷などは国府と関係がありました。律令制度が揺らぎはじめると、貴族・寺社や皇室は荘園を所有するようになり、8世紀末には牛田荘が大和国の西大寺領となったほか、可部荘（可部）、三入荘（三入）、田門（たど）荘（口田周辺）などが設けられました。

当時の太田川河口付近であった祇園地区の山本周辺には、内陸部にあった厳島神社の荘園からの物資を運び出すための倉敷地がありました。

中世

承久の乱（1221年）後、新たに安芸国守護職となった武田氏は、武田山に築いた^{かなやま}銀山城（安佐南区）に本拠をおきました。

城下付近には市が立つなど、にぎわいをみせるようになり、政治の中心も府中から移ってきました。武田氏は、南北朝時代に入ると、足利尊氏の誘いに応じ、毛利・吉川・熊谷氏などを味方にし、矢野城（安芸区）などで、反幕府勢力と激しい抗争を続けました。

その後、武田氏は守護職を追われましたが、15世紀の初めには、太田川流域を支配する分郡守護として復活しました。

このころ、現在の市街地のあたりには太田川によって運ばれた土砂が堆積し、砂洲や自然堤防ができ、次第にデルタが形成され、漁撈を主業とする人々が生活を営むようになりました。やがてこの地域は、広島湾頭における武田氏と山口の大内氏の勢力争いにまきこまれるなど次第に政治的・経済的に重要性をおびるようになりました。この地が、文書に初めて出てくるのは、応永4年（1397年）のことで、^{あまのしょう}厳島神社領安摩荘（矢野周辺）の付属地として五ヶ浦の名が記されています。

天文10年（1541年）武田氏は滅亡し、代わって毛利氏が次第に勢力を伸ばし、弘治元年（1555年）の厳島合戦^{すえ}で陶氏を破ると、急速に勢力を中国地方に拡大しました。毛利氏は豊臣秀吉の全国統一の過程において、その勢力下に入り、中国地方の大半を領有する112万石の大名となりました。

この広大な領地経営の中心は、毛利氏の本拠地である吉田の郡山城（安芸高田市）でしたが、軍事・政治・経済等あらゆる面で、海陸交通の要衝の地に本拠を移すことが必要となってきました。

近世

天正17年（1589年）毛利輝元は、当時五ヶ（五ヶ村）といわれた太田川デルタの上に築城を始め、この地を「広島」と命名したといわれています。その後、約2か年の歳月を費やして築城工事は完成し、天正19年（1591年）、輝元は家臣を従えて入城するとともに、領内各地から職人や商人



城下絵図 (安永7~8年頃 (1778~1779年頃))

を招くなどして、京都・大坂（大阪）にならい城下町の建設を行いました。

豊臣秀吉の没後、慶長5年（1600年）に起こった関ヶ原の戦いに敗れた毛利輝元は、防長2か国に移され、代わって尾張清洲（愛知県）の福島正則が芸備49万8千石の領主となりました。福島氏は毛利時代に引き続き城下町の拡張や整備を行うとともに、西国街道（山陽道）を城下に通し、出雲・石見国への雲石街道の整備を図りました。

しかし、福島氏は幕府から広島城の無断修築の罪で改易され、元和5年（1619年）紀州（和歌山県）から浅野長晟が、安芸一国と備後8郡42万6千石を領して入城しました。

江戸時代には、広島城下の南方の干潟は次々と干拓されていき、文政年間（1820年頃）には新開の町村数は35を数えました。

このころ、町・新開の人口は4万8千人を超え、これに武家・寺社の推定人口2万人を加えると、

城下の総人口は7万人前後となり、江戸・大坂（大阪）・京都・名古屋・金沢に次ぐ大都市でした。

また、内海航路沿いの最大都市として、本川や元安川沿いは他国船でにぎわいをみせ、なかでも中島界限は街道沿いに大店が並ぶ商業の中心地でした。

城下近郊では沿岸地域で綿が、太田川流域では麻苧・紙・竹細工・野菜、広島湾では海苔・かきなどが生産され、多くが城下を集められた後、上方へ積み出されました。

近代 一明治・大正・昭和戦前

明治4年（1871年）7月、新政府による廃藩置県が行われ、翌5年（1872年）4月、広島城下は広島県第一大区となり、続いて11年（1878年）11月、郡区町村編制法の実施により、広島区と改められました。

次いで、21年（1888年）4月市制町村制が公布され、翌22年（1889年）4月1日、広島は全国で最初の市の一つとして市制を施行しました。その時の面積は約27km²、戸数は2万3,824戸、

人口は8万3,387人でした。

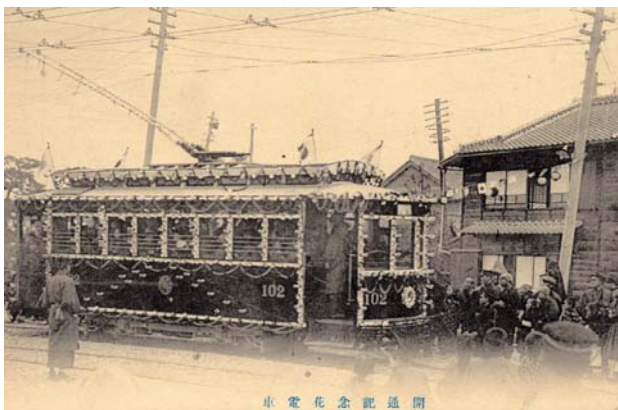
明治22年(1889年)11月には、千田貞暁県令(県知事)の努力により、17年(1884年)9月以来、5か年に及んだ宇品港の築港工事が完成し、皆実新開以南、宇品島へ至る浅海は広大な陸地となりました。さらに、27年(1894年)6月には、山陽鉄道が広島まで開通しました。

同年8月に日清戦争が始まると、広島 - 宇品間の軍用鉄道(宇品線)が2週間余りの突貫工事により開通し、宇品港から多くの兵員・物資が戦地へ送り出されました。

同年9月には大本営が広島城内に移され、10月には臨時帝国議会も開かれるなど広島は臨時首都の様相を呈しました。

以後、37・38年(1904・1905年)の日露戦争など相次ぐ戦争により、軍関係の諸施設が次々と設置され、本市は、「軍都」としての性格を強めていきました。一方で明治35年(1902年)の広島高等師範学校の設置をはじめとし、広島高等工業学校、広島高等学校、広島女子専門学校、広島文理科大学などの学校が設置され、文教施設が充実していきました。こうして本市は次第に中国地方における政治・経済・文教・交通の中心都市となっていきました。

相次ぐ軍事施設の設置などにより上水道の敷設など都市施設の整備も進みました。なかでも城濠の埋立は、その一部に電車軌道が敷設されるなど街の景観を大きく変貌させました。



市内電車開通を祝う花電車(大正元年(1912年))

大正元年(1912年)11月、広島電気軌道株式会社経営の市内電車が、広島駅 - 紙屋町 - 相生橋線など3路線で開通し、従来の乗合馬車に代わり市内の主要交通機関となりました。

4年(1915年)4月には御幸橋 - 宇品線、6年(1917年)11月、左官町 - 横川線が開通すると、市内の交通は一段と便利になり、八丁堀・紙屋町付近が、城下町時代からの経済的中枢であった中島本町・堺町付近と比肩することとなり、後には、これらをしのぐ繁華街となっていきました。

なお、明治・大正年間を通じ、明治37年(1904年)9月の仁保島村字宇品島を市域に編入(新町名:元宇品町)した以外に町村合併による市域の拡張はありませんでした。

広島市は、大正8年(1919年)に制定された都市計画法の適用を受けて、本市とともに都市計画区域となった隣接町村に合併を働きかけ、昭和4年(1929年)4月、隣接7か町村(仁保村・矢賀村・牛田村・三篠町・己斐町・古田村・草津町)との合併が実現しました。これにより、人口は27万人を超え、全国で7番目に人口の多い市となりました。

昭和7年(1932年)太田川改修工事に着手、また宇品港は広島港と名を改め、翌8年(1933年)には修築が始まり、15年(1940年)からは工業港建設と埋立地を臨海工業地帯とする事業が始まりました。

戦災・復興から現代まで

昭和20年(1945年)8月6日、人類史上最初の原子爆弾が市中心部上空約600mで炸裂しました。広島の街は一瞬にして焦土と化し、多くの人々の生命が奪われ、全ての都市機能は壊滅的な被害を受

けました。同年末までの死者は約 14 万人（誤差± 1 万人）と推計され、生き残った人々は様々な形で後障害に苦しめられ、その影響は今なお続いています。

瞬時に壊滅し、廃墟の街となった本市の復興は、鉄道・電車などの輸送機関や通信・電力などの復旧から始まりました。市民も食糧や物資の欠乏に苦しめられながらも生活の再興を進めていきました。一方、市は、昭和 21 年（1946 年）の秋には、復興都市計画を決定しましたが、資金難などによりなかなか進みませんでした。昭和 24 年（1949 年）8 月 6 日に公布された我が国最初の特別法「広島平和記念都市建設法」により、爆心地に近い中島地区へ平和記念施設を整備するとともに、平和記念都市という都市像のもとに、復興を進めるという復興計画が提示され、道路・橋梁・住宅などの整備が本格的に進むこととなり、高度経済成長前夜の市域拡張期を迎えました。

戦後、市町村が所管する事務の増大に伴い、その能率的処理のためには自治体規模の合理化が必要となり、昭和 28 年（1953 年）町村合併促進法、31 年（1956 年）新市町村建設促進法により、町村合併は全国的機運になりました。広島市では 30 年（1955 年）4 月安芸郡戸坂村、31 年（1956 年）4 月安芸郡中山村、同年 11 月佐伯郡井口村と合併を行い、翌 32 年（1957 年）人口は 40 万人を超えました。33 年（1958 年）末には、戦前の最高を突破し、39 年（1964 年）4 月には人口 50 万人を超えました。

また、36 年（1961 年）の広島空港（現広島ヘリポート）開港、39 年（1964 年）の山陽本線全線電化開通、40 年（1965 年）の広島民衆駅完成、41 年（1966 年）の国道 2 号新広島バイパス開通等交通基盤の整備を通して市勢は一段と伸長、広島都市圏が形成されるようになりました。

その結果、市域を越えて広がった日常生活圏内の諸問題を一体的に処理するため、周辺町村との合併機運が高まりました。

33 年（1958 年）には「大広島」構想を発表し、本市を中核に広域都市圏を建設しようという構想を相次いで打ち出しました。こうした動きのなかで、43 年（1968 年）1 月、周辺 19 か町村による広島地区広域行政懇談会が設置され、45 年（1970 年）3 月、広島市基本構想策定により、周辺町村との合併は一挙に進みました。

46 年（1971 年）4 月の安佐郡沼田町との合併をはじめとして、同年 5 月安佐郡安佐町、47 年（1972 年）4 月安佐郡可部町、同年 8 月安佐郡祇園町、48 年（1973 年）3 月安佐郡安古市町、佐東町、高陽町及び安芸郡瀬野川町、同年 10 月高田郡白木町、49 年（1974 年）11 月安芸郡熊野跡村、安芸町、50 年（1975 年）3 月安芸郡矢野町、船越町の計 13 か町村が本市と合併しました。

そして、55 年（1980 年）4 月 1 日には、全国で 10 番目の政令指定都市となりました。

政令指定都市移行後、スポーツセンター、図書館、文化センターが各区に順次整備され、さらに郷土資料館、現代美術館、アステール・プラザ、陸上競技場（ビッグアーチ）などの広域的な文化・スポーツ施設が充実していきました。なかでも、国際大会に使用できるスポーツ施設を持つ広域公園では、ここを中心に、平成 6 年（1994 年）、地方都市としてははじめてアジア競技大会が開催され、周辺地域の開発も加速しました。21 年（2009 年）3 月には、広島駅東側に新しい広島市民球場（マツダスタジアム）が完成し、広域公園とともに市民に活力を与えるプロスポーツの拠点ともなっています。



アジア競技大会開会式の集団演技（平成 6 年（1994 年））

市内中心部の戦災復興は、平和大通り等広

幅員の街路を含んだ大規模な区画整理に取り組んだことから、昭和47年（1972年）の完成までに30年弱の期間を要しました。この間、慢性的な住宅不足と区画整理事業の影響から、河岸等に大規模な不法建築群を抱えることになりました。53年（1978年）、これらを撤去し高層住宅や公園を整備する基町地区再開発事業が完了し、戦災復興に一つの区切りを与えました。一方、原爆被災の影響が少なかった段原地区については、狭隘な細街路等が大きな課題として残されていましたが、平成26年（2014年）、43年かけた再開発事業が完了しました。

デルタ地帯の宿命として長く洪水に悩まされてきた本市ですが、昭和40（1965年）、太田川放水路通水により、戦前から続いた太田川改修工事が完了し、住みよい街づくりへの大きな社会基盤が整備されました。

昭和57年（1982年）には、大規模な卸売団地と住宅団地の造成を同時に行う西部開発事業が竣工、アジア競技大会前後には、西風新都の開発、平成13年（2001年）の紙屋町地下街「シャレオ」開業等、新たな市街地の開発が進められました。

また、戦後に建てられた老朽化した建物が存続する広島駅周辺地域では、広島の玄関口としてふさわしい姿へと整備するため、昭和56年（1981年）広島駅南口Aブロック第一種市街地再開発事業計画を作成し、平成11年（1999年）に事業が完了しました。駅周辺の整備は、市民球場の移転を契機に一挙に加速し、現在では隣接するBブロック、Cブロック、駅北側の二葉の里地区についても再開発が進んでいます。

昭和50年（1975年）の山陽新幹線の全線開通、54年（1979年）の広島空港（現広島ヘリポート）へのジェット機乗りの入れ開始などの社会資本の整備とともに本市の経済も順調に伸びました。平成6年（1994年）には市北部からの慢性的な交通渋滞を解消するため、祇園新道とともに新交通システム（アストラムライン）が開通しました。また、13年（2001年）には広島高速4号線（広島西風新都線）が開通、その後1号線、2号線、3号線が開通し、本格的な都市高速道路時代を迎えています。

こうした発展の一方で、人類初の被爆都市となった広島では、被爆翌年の昭和21年（1946年）8月6日には、現在の平和記念式典につながる平和復興祭が広島市町会連盟主催により開催されました。30年（1955年）には、平和記念公園内に広島平和記念資料館が開館、また平成14年（2002年）には、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館が設置され、被爆者の遺品や体験記などにより、原爆の悲惨さと平和の尊さを発信しています。

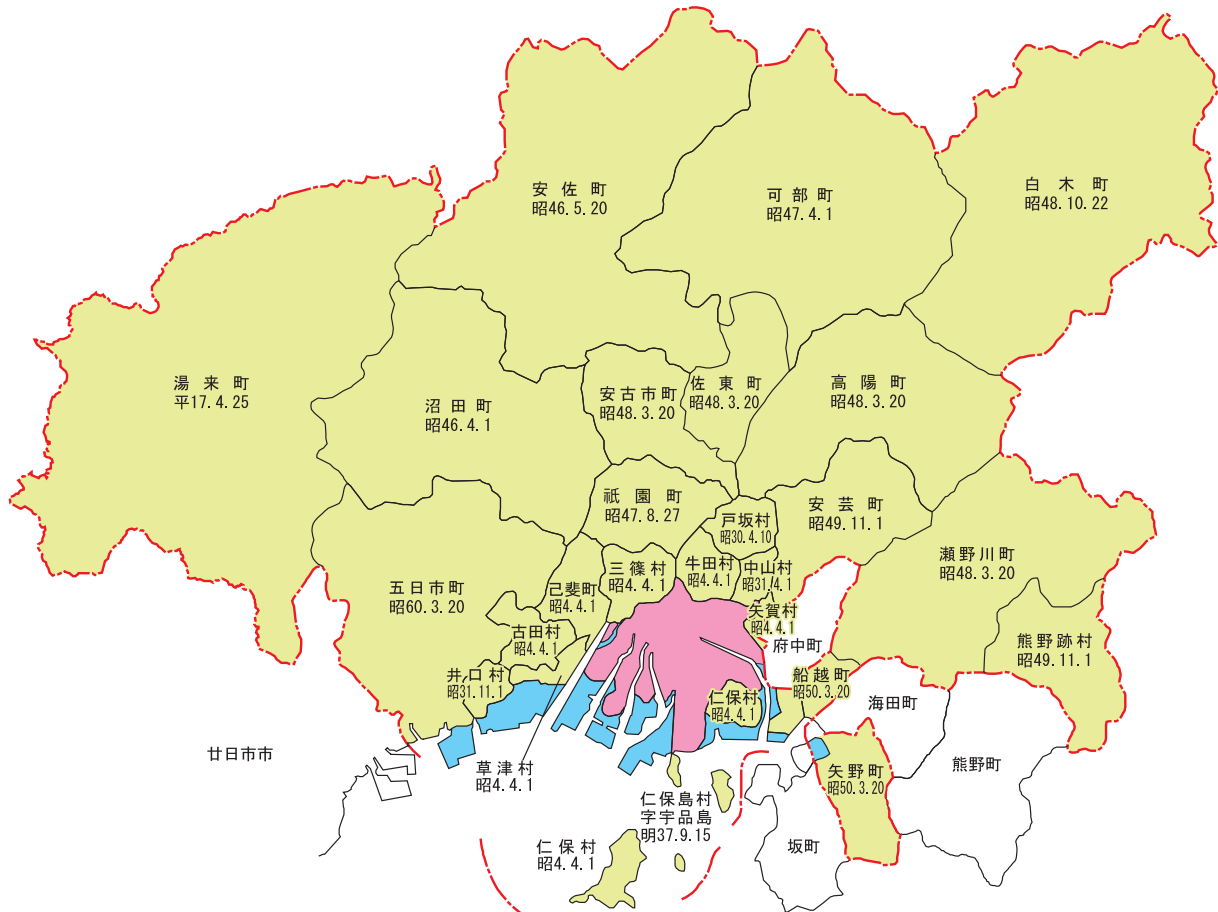






完成を待つ平和記念資料館 昭和29年(1954年)12月撮影

被爆の証人である原爆ドームは、昭和41年（1966年）市議会が保存を決定、平成8年（1996年）には世界遺産一覧表へ登録されました。これらの施設をはじめとするさまざまな取り組みにより、核兵器廃絶と世界平和の実現を訴え続けています。

政令指定都市移行後は、昭和60年（1985年）3月、佐伯郡五日市町と合併、人口は100万人を超えました。平成17年（2005年）4月には佐伯郡湯来町と合併し、現在人口118万人を超える都市となっています。

●市域の変遷



凡 例	
	明治22年(1889年)4月1日市制施行時の市域
	合併により拡大した市域
	埋立により拡大した市域
	現在の市域界

●面 積

(単位：km²)

年 次	全 市	中 区	東 区	南 区	西 区	安佐南区	安佐北区	安芸区	佐伯区
昭和55年(1980年)	675.62	14.74	39.77	23.92	34.49	117.24	352.11	93.35	—
昭和60年(1985年)	736.91	14.74	39.77	24.25	35.03	117.24	352.11	93.92	59.85
平成26年(2014年)	906.53	15.32	39.42	26.3	35.61	117.24	353.33	94.08	225.22

注：各数値は、当時の市域によります。

(各年10月1日現在)

資料：国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」

議決機関・執行機関

本市には、議決機関として議会が置かれ、執行機関として市長並びに教育委員会等の行政委員会及び監査委員が置かれています。

市の行政は、議決機関と執行機関の相互牽制^{けんせい}と調和によって運営されています。

議決機関



市議会議長
碓井 法明

広島市議会の議員定数は 55 人であり、議員の任期は 4 年です。

議会の本会議には、年 4 回の定例会と必要に応じ招集される臨時会があり、議案その他の議決事項は、本会議で決定されます。

また、本市の議会には、6 つの常任委員会が設けられ、議案等の専門的な審査や調査を行っています。

そのほか、特定の事件を調査又は審査するため、特別委員会を設けることができ、現在、大都市税財政対策特別委員会など 4 つの調査特別委員会が設けられています。

また、予算特別委員会や決算特別委員会を設け、予算や決算の審査を行っています。

執行機関

広島市長は、多岐にわたる行政分野の事務を管理執行する市政の最高責任者であり、任期は 4 年です。その市長の補助機関として、副市長を置き、その下に局長等の職員を配置しています。

市長事務部局には、10 局、8 区役所及び会計室を設置し、市長の権限に属する事務等を所掌させています。

市長以外の執行機関としては、教育委員会、選挙管理委員会、人事委員会、監査委員、農業委員会及び固定資産評価審査委員会があります。



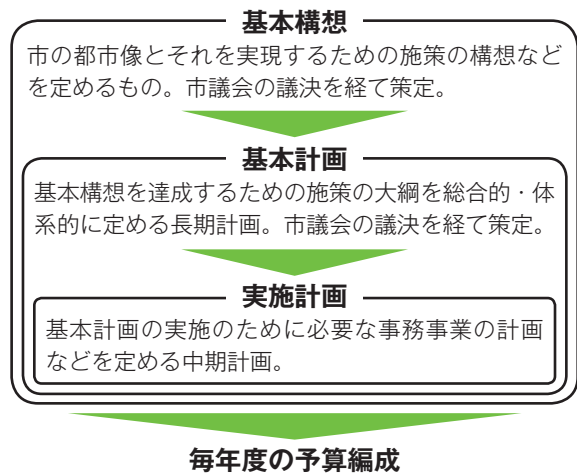
市長
松井 一實

広島市総合計画

総合計画は、幅広い市民生活に関わる市の仕事を計画的・効率的に行うための基本的な方向を定めるものであり、「基本構想」、「基本計画」及び「実施計画」で構成しています。市は、これらを基に毎年度の予算を編成し、具体的な施策の展開を図っています。

広島市では、世界及び我が国社会における環境の変化等に対応し、未来を見据えた計画的な都市づくりを進めるため、平成21年（2009年）10月16日に市議会の議決を経て、新しい「広島市基本構想」と「第5次広島市基本計画」（計画期間：平成21年度（2009年度）～平成32年度（2020年度））を策定しました。

【広島市総合計画の体系】



広島市基本構想

1 都市像

広島市の都市像は「国際平和文化都市」です。この都市像は、市が初めて基本構想を策定した昭和45年（1970年）から継承しています。

2 施策の構想（構成のみを掲載）

「広島らしさ」具現化の視点を織り込みながら、次のとおり施策の構想を定めています。

広島の持つ「平和の求心力」を生かした都市づくり

(1) 核兵器廃絶と世界恒久平和の実現 (2) 環境と人とのパートナーシップの構築

「幸せ」と「まちの元気」の増進を目指した都市づくり

(1) 未来を担う子どもの幸福の増進 (2) 男女共同参画社会、異文化や多様性を認め合う社会の形成
(3) 健康で生き生きと暮らせる都市環境の創出 (4) 創造力と活力に満ちた都市の実現
(5) *ICT 先端都市の実現

*ICT：情報通信技術のこと。

広島型「市民自治」を目指した都市づくり

(1) 市民福祉の増進に向けた市民主体の都市づくりの推進
(2) 市民の創意工夫による地域のまちづくりの推進 (3) 自律的な都市経営の推進

第5次広島市基本計画

平成21年度（2009年度）から平成32年度（2020年度）までの12年間を計画期間として、分野ごと、区ごとに施策の大綱を定めています。

1 分野別計画の構成

(1) 核兵器廃絶と世界恒久平和の実現 (2) 環境と人とのパートナーシップの構築
(3) 安全・安心の確保と生活基盤の整備 (4) 子どもの未来の創造
(5) 保健・医療・福祉の充実 (6) パートナーシップに基づく新たなライフスタイルの創造
(7) ICT 先端都市の実現 (8) 持続可能な市場経済の創出 (9) 千客万来の都市の実現

2 区の計画

各区のキャッチフレーズや将来像、「住民に身近な地区別まちづくりビジョン」（32地区）などを定めています。

広島市実施計画

平成24年度（2012年度）から平成27年度（2015年度）までの4年間を対象期間とする「世界に誇れる『まち』の実現に向けた取組状況」を実施計画として策定しており、毎年度、見直しを行い更新しています。



世界に誇れる「まち」の実現に向けて

— 市政推進に当たっての基本コンセプト —

広島市基本構想及び第5次広島市基本計画に基づく市政を着実に推進していくに当たり、広島市が目指すべき「まち」の姿と、その実現に向けて、当面、重点的に取り組むべき施策の方向性や留意すべき点などを示すため、平成23年12月に「世界に誇れる『まち』の実現に向けて—市政推進に当たっての基本コンセプト—」を策定しました。

具体的な「まち」づくりは、この基本コンセプトを踏まえながら進めています。

目指すべき「まち」の姿と三つの要素

●目指すべきまちは、市民が「世界に誇れる『まち』」

【誰もが「生きることの素晴らしさ」を心と体で実感できる「まち」】

三つの要素を柱にしたまちづくり

活力とにぎわい

ワーク・ライフ・バランス

平和への思いの共有

地域経済の持続的な発展によりもたらされる「活力とにぎわい」を土台に、多様な価値観を持った市民が、その価値観に応じて仕事と生活が調和した生活を送ることができる「ワーク・ライフ・バランスのまち」が実現します。

市民や広島を訪れた人は、まち全体にあふれる「平和への思い」に接することにより、その思いを共有します。



【目指すべき「まち」の姿のイメージ】

「活力にあふれにぎわいのあるまち」の実現に向けた取組

- (1) 都市機能の充実強化
- (2) 産業の振興
- (3) 観光の振興

「ワーク・ライフ・バランスのまち」の実現に向けた取組

- (1) 雇用の促進等
- (2) 保健・医療の充実
- (3) 福祉の充実
- (4) 未来を担う子どもの育成
- (5) スポーツ・文化芸術の振興
- (6) 安全・安心に暮らせる生活環境の整備

「平和への思いを共有するまち」の実現に向けた取組

- (1) 核兵器廃絶と世界恒久平和の実現
- (2) 「迎える平和」の推進

取組を進めるに当たり留意すべき点

- (1) 市民の目線で考えます
- (2) 地域資源を掘り起こし、有効活用します
- (3) 近隣市町や県との連携を強化し、地方分権を推進します
- (4) 「市民の力」を結集します
- (5) 行財政改革を着実に進めます

核兵器廃絶に向けた取組

平和首長会議

1945年8月、広島・長崎両市は一発の原子爆弾により一瞬にして廃墟と化し、両市合わせて21万人を超える多くの人々の尊い命が奪われました。原子爆弾は、その投下から69年が経過した現在でも、放射線による後障害や精神的な苦しみを市民に残しています。このような原子爆弾による悲劇が二度と繰り返されることのないよう、広島・長崎両市は一貫して世界に核兵器の非人道性を訴え、その廃絶を求め続けてきました。

1982年6月24日、ニューヨークの国連本部で開催された第2回国連軍縮特別総会において、広島市長が、世界の都市が国境を越えて連帯し、共に核兵器廃絶への道を切り拓こうと、「核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画」を提唱し、世界各国の都市に連帯を呼びかけました。

平和首長会議は、この趣旨に賛同する都市（自治体）で構成された機構です。1991年5月には国連経済社会理事会にカテゴリーⅡ（現在は「特殊協議資格」と改称）のNGOとして登録されました。

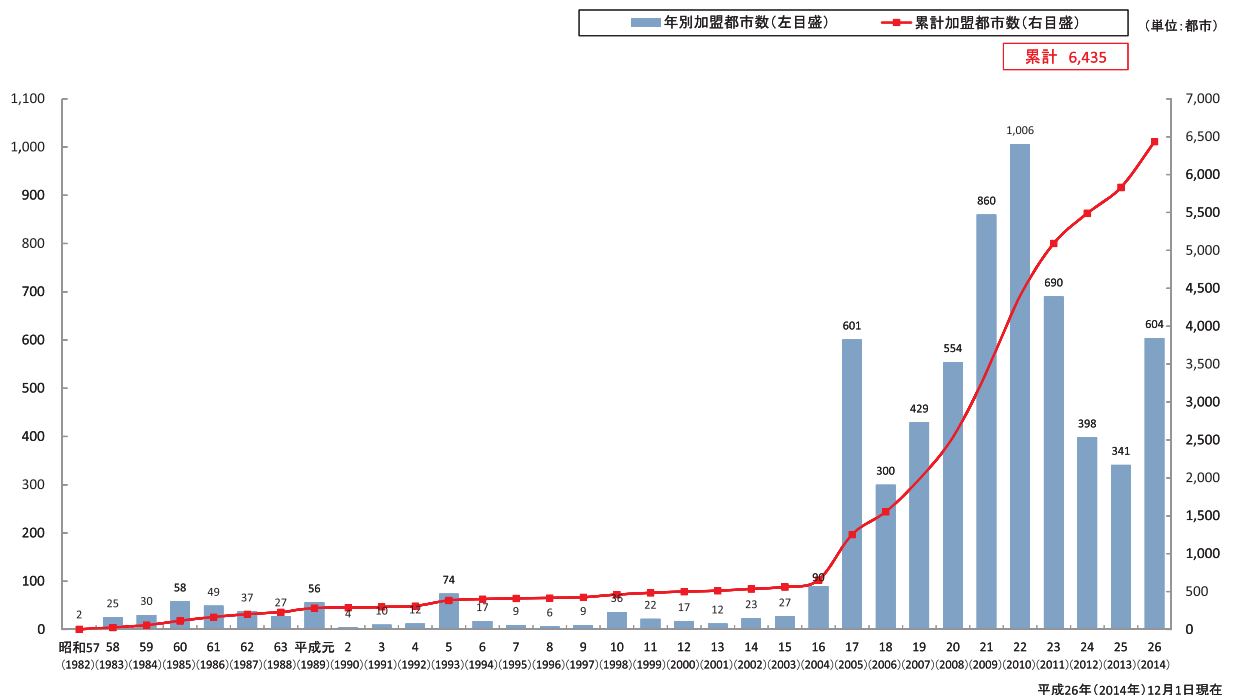
2014年12月1日現在、世界160か国・地域6,435の自治体が加盟しています。

今後もより多くの都市への加盟呼び掛けと都市連帯の輪の更なる拡大、加盟都市間の連携強化を図ることとしています。



第8回総会（2013年8月 広島市）

● 平和首長会議加盟都市数の推移



2020 ビジョン（核兵器廃絶のための緊急行動）の展開

平和首長会議では、2020年までの核兵器廃絶を目指す行動指針「2020 ビジョン（核兵器廃絶のための緊急行動）」を策定し、加盟都市の市民、NGO等と連携しながら、核兵器廃絶に向けた様々な活動を展開しています。

「2020 ビジョン」には、欧州議会、全米市長会議、全米黒人市長会議、都市・自治体連合（UCLG）、全国市長会（日本）、日本非核宣言自治体協議会等から支持をいただいています。また、潘基文国連事務総長からも「2020 ビジョン」をはじめとする平和首長会議の活動に高い評価をいただいています。

平和首長会議は、2013年8月、広島市で開催した第8回総会において、「2020 ビジョン」の下、今後2013年から2017年までの間に取り組む「平和首長会議行動計画（2013年－2017年）」を決定し、これに基づき取組を推進しています。



2010年NPT再検討会議に合わせたニューヨークでの行進

● 「2020 ビジョン」の目標

(1) 全ての核兵器の実戦配備の即時解除

世界には今もなお、多数の核兵器が実戦配備されています。世界の市民がこうした脅威に直面している中、誤使用も含めた核兵器の使用を回避するため、全ての核兵器の実戦配備を即時解除することを求めます。

(2) 「核兵器禁止条約」締結に向けた具体的交渉の開始

核兵器の全面的廃絶に対する核兵器保有国の明確な約束等これまでのNPT再検討会議等での国際合意を根拠に、各国政府に「核兵器禁止条約」締結に向けた具体的交渉を開始するよう求めます。

(3) 2015年までの「核兵器禁止条約」の締結

2015年までに、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する「核兵器禁止条約」が締結されるよう、各国政府等に要請します。

(4) 2020年を目標とする全ての核兵器の解体

厳格な国際管理の下、被爆75周年となる2020年までに地球上の全ての核兵器を解体することにより、核の恐怖から解放された平和な世界の実現を目指します。

● 「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動の展開

2020年までの核兵器廃絶を実現するために最も効果的な方法は、世界の全ての国が「核兵器禁止条約」を締結することです。「核兵器禁止条約」とは、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する条約であり、2010年5月のNPT再検討会議の最終文書では、この条約について初めて言及がなされ、潘基文国連事務総長もその必要性を強調しています。こうした中、平和首長会議では、2010年12月から「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動に取り組んでいます。



「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名を潘基文国連事務総長に提出

原爆被爆者

原爆死没者の慰霊

平和記念公園内にある広島平和都市記念碑（原爆死没者慰霊碑）には、広島市原爆死没者名簿が納められています。

この名簿は毎年8月6日に挙行される原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式において追加奉納されており、平成26年（2014年）8月6日現在で、名簿に登載された原爆死没者は29万2,325人に及んでいます。



広島平和都市記念碑

●広島市原爆死没者名簿奉納数

（単位：人）

奉納年月日	男	女	性別不詳	計
平成25年（2013年）8月6日現在奉納数	155,667	131,092	59	286,818
平成26年（2014年）8月6日追加奉納数	2,528	2,979	0	5,507
計	158,195	134,071	59	292,325

資料：原爆被害対策部調査課

被爆者健康手帳

被爆者健康手帳は、その人が原子爆弾による被爆者であることを示す一種の証明書であり、平成6年（1994年）に制定された「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき交付されています。手帳の所持者数は被爆者の高齢化とともに減少傾向にあります。

●被爆者健康手帳交付状況

（単位：人）

年次	総数 （※）	増加分				減少分			
		総数	新規	受診者証からの切替	転入等	総数	死亡	転出等	その他
平成24年度(2012年度)	64,302	430	224	19	187	2,788	2,613	175	—
平成25年度(2013年度)	61,666	282	131	11	140	2,918	2,740	178	—

資料：原爆被害対策部援護課

注：※は年度末現在の手帳交付数

認定被爆者

認定被爆者とは、被爆者が原子爆弾の傷害作用に起因する病気やケガがあり、現在治療を要する状態にあることについての厚生労働大臣の認定を受けた方をいいます。

認定被爆者は、その認定を受けた病気やケガが継続している間、医療特別手当が支給されるとともに、認定を受けた病気やケガについて、厚生労働大臣指定の医療機関等で治療を受けた場合、全額国費で医療を受けることができます。

●広島市内において認定を受けている認定被爆者数（各年度末現在）

（単位：人）

年度	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)
人数	1,980	2,725	3,045	3,472	3,707	3,810

資料：原爆被害対策部援護課

注：認定を受けた疾病が現在治癒している者も含む。



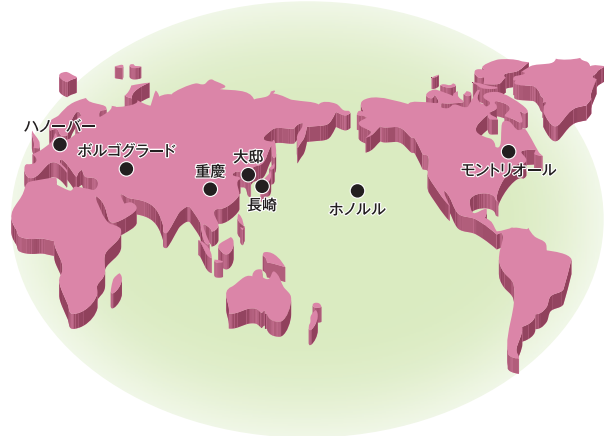
姉妹・友好都市

ホノルル市 (アメリカ合衆国)

広島市の最初の姉妹都市。両市民は第二次世界大戦で戦禍を体験し、平和を願う気持ちが強く、またホノルル市には広島出身の移住者が多いことから、提携に至りました。ハワイ州の州都として政治や経済の中心地であり、美しい風景とリゾート地、快適な気候が多くの観光客をひきつけています。

平成21年(2009年)には、提携50周年を迎えました。また、平成24年(2012年)には、市長をはじめとする経済交流訪問団がホノルル市を訪問しました。

(昭和34年(1959年)提携)

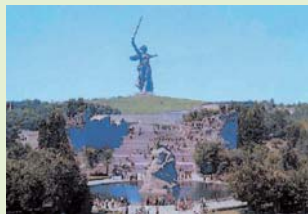


ボルゴグラード市 (ロシア連邦)

両市とも第二次世界大戦により未曾有の被害を受け、平和を願う気持ちが強いことから、姉妹都市提携に至りました。カスピ海に注ぐ南西部の大川、ボルガ川の下流域にあり、主要産業を有するロシア有数の都市として、産業・経済・文化活動も盛んです。

広島市の平和記念式典には、代表団が度々参列しています。また、平成24年(2012年)には、提携40周年を記念して、市長をはじめとする代表団の相互訪問が行われました。

(昭和47年(1972年)提携)



大邱広域市 (大韓民国)

主にスポーツの分野で交流が行われていましたが、平成6年(1994年)のアジア競技大会を契機に友好促進の気運が高まり、姉妹都市提携に至りました。

韓国東南部の経済・教育・文化の中心で、繊維産業、機械設備産業などが盛んです。周辺の慶州、安東等への観光の拠点として、観光振興にも力を注いでいます。平成23年(2011年)には、世界陸上競技選手権大会が行われ、市長を始め183名の訪問団が訪問しました。



ハノーバー市 (ドイツ連邦共和国)

両市間で青少年交流を中心とした10数年に及ぶ様々な分野での交流が積み重ねられ、提携に至りました。

ドイツ北部に位置するニーダーザクセン州の州都で、第二次世界大戦の空襲により破壊されながらも、戦後、中世からの伝統ある優れた都市計画のもと、再び「緑の中の大都市」と呼ばれる街に成長しました。平成25年(2013年)には、提携30周年を記念して、両市代表団が相互訪問を行いました。

(昭和58年(1983年)提携)



モントリオール市 (カナダ)

広島市長が昭和61年(1986年)に、モントリオール市で開催された「平和と安全に関する国際会議」で講演したことを契機に両市の交流が始まり、姉妹都市提携に至りました。

ケベック州最大の都市で、カナダ3大都市の一つです。国際都市としての一面と、古きヨーロッパの伝統と文化の趣を兼ね備えた都市です。平成20年(2008年)には提携10周年を記念して、本市から代表団等が訪問しました。



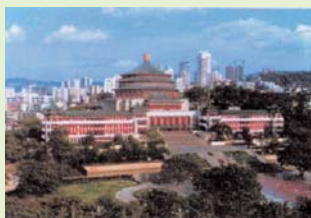
重慶市 (中華人民共和国)

昭和55年(1980年)から、両市関係者の相互訪問を始め、様々な分野での交流を重ねていたことから友好都市提携に至りました。

中国西南部最大の商工業中心地で、直轄市としては中国で最も人口が多い都市です。水と緑に恵まれ、多数の文化財や景勝地など観光資源も豊かな都市です。

平成23年(2011年)8月及び11月に副市長等が重慶市を訪問しました。

(昭和61年(1986年)提携)



長崎市 (日本)

被爆30周年を契機に、更に友好と提携を深め、被爆都市としての使命を果たすことにより、世界の平和と人類の福祉に寄与することを誓い、平和文化都市として提携しました。平成21年(2009年)8月には、平和市長会議総会が同市で開催され、2020年までの核兵器廃絶に向けた具体的提案を盛り込んだ「ナガサキアピール」が決議されました。

(昭和50年(1975年)提携)



主要行事・イベント



みなとフェスタ



ひろしまフラワーフェスティバル(花の塔)

春



さくらまつり



ひろしまフラワーフェスティバル
(YOSAKOIパレード)



とうかさん大祭/ゆかたでぎん祭



広島みなと 夢 花火大会



納涼ナイト・サファリ

夏



平和記念式典



ピースメッセージとうろう流し

3月 みなとフェスタ

4月 さくらまつり(広島市植物公園)

5月 ひろしまフラワーフェスティバル

6月 とうかさん大祭/ゆかたでぎん祭

7月 広島みなと 夢 花火大会

8月 納涼ナイト・サファリ
(広島市安佐動物公園)

8月6日

平和記念式典

ピースメッセージとうろう流し



ひろしまフードフェスティバル



広島城大菊花展

秋



ひろしま国際平和マラソン



胡子大祭 / えべっさん



ひろしまドリミネーション

冬



花と光のページェント



ひろしま男子駅伝



広島市水産まつり

10月	ひろしまフードフェスティバル	11月	ひろしま国際平和マラソン	12月	花と光のページェント (広島市植物公園)
	広島城大菊花展		胡子大祭 / えべっさん	1月	ひろしま男子駅伝
		12月	ひろしまドリミネーション	2月	広島市水産まつり

ザ・広島ブランド、ひろしまそだち

ザ・広島ブランド

広島の特産品で特に優れたものを「ザ・広島ブランド」として認定し、全国に向けてPRすることで、知名度をより高めその消費拡大を図るとともに、広島のイメージを向上させ、地域経済の活性化及び顧客の促進を図ります。

「ザ・広島ブランド」認定特産品一覧

(平成26年(2014年)12月31日現在)

区分	認定特産品名	事業者	
食 品 (59)	焼きモンブラン	株式会社アルファ	
	賀茂鶴日本酒ケーキ	株式会社アンデルセン	
	まるごとちりめん煎餅	有限会社石野水産	
	あなご竹輪	株式会社出野水産	
	広島県産大豆きな粉	株式会社上万糧食製粉所	
	広島風だんごの粉		
	本洲一 無濾過本醸造	合名会社梅田酒造場	
	さざれ石	株式会社大崎水産	
	浜の松茸		
	鶴亀もなか	株式会社御菓子所高木	
	オタフクお好みソース	オタフクソース株式会社	
	オタフク広島限定お好みソース		
	川根ゆず使用 期間限定 ゆずぼんしょうゆ 芳醇 天然かけ醤油	川中醤油株式会社	
	草津かき	草津かき組合	網岡一師、網崎族道、 網本一登、大谷輝彦、 大可 勇、大島久幸
		味感工房チルド広島流お好み焼	株式会社里吉製作所
	ミツフお好みソース	サンフーズ株式会社	
	冷凍・冷蔵お好み焼 お好み村		
	広島かきの土手鍋の素	新庄みそ株式会社	
	黒鯛みそ	瀬戸内みそ高森本店	
	お好みソース 広島ちやけん	センナリ株式会社	
	空口ママのマルチーミルクジャム	空口ママのみらく工房	
	旅行の友(ふりかけ)	田中食品株式会社	
	江波せんべい海鮮しほり焼牡蠣	巴屋清信有限会社	
	本格芋焼酎 達磨 紅あずま 25度	中国醸造株式会社	
	広島かきめしの素 かきめし	有限会社珍味処なかむら	
	広島のみかきしぐれ		
	にしき堂のもみじ饅頭(こしあん)	株式会社にしき堂	
	銘菓 新・平家物語		
ねこしま広島菜漬	株式会社猫島商店		
しゃもじかきめし	広島駅弁当株式会社		
広島レモン「赤秀」	広島県果実農業協同組合連合会		
広島レモンサイダー			
オイスターソース原液	広島県漁業協同組合連合会		
太田川しじみ	広島市内水面漁業協同組合		
広島菜漬	広島市農業協同組合		
こもち昆布	株式会社ヒロツク		
サクラ咲く 花ソーセージ	福留ハム株式会社		
もみじまんじゅう(こしあん)	株式会社藤い屋		
吾作饅頭	株式会社平安堂梅坪		
広島名産柿羊羹 祇園坊			
堀口のかき	堀口海産株式会社		

区分	認定特産品名	事業者
工 芸 品 等 (11)	しゃもじかまぼこ	有限会社堀水産
	上煎黄奈粉	増田製粉株式会社
	かきの土手鍋の素	株式会社ますやみそ
	牡蠣まるごとせんべい	有限会社マルイチ商店
	広島かき味のり	丸徳海苔株式会社
	かきめし	三島食品株式会社
	瀬戸風味®	
	俵むすび	株式会社むさし
	からす麦の焼きたてクッキー アーモンド 酒のいろいろ物語	株式会社モーツアルト
	八幡川 活性にごり酒	八幡川酒造株式会社
	桐葉菓	株式会社やまだ屋
もみじ饅頭(こしあん)		
レモスコ	ヤマトフーズ株式会社	
安藝紫	株式会社山豊	
広島菜漬(安藝菜)		
米田海産 広島かき	米田海産株式会社	
熊野筆(書道筆)	株式会社一休園	
高盛絵	金城一國齋	
洋かつら:医療用ウィッグ(オールハンドメイド)	株式会社 クスノキ	
宮島のロクロ細工	小林一松堂	
熊野筆(日本画筆・アニメ筆・絵手紙筆など)	株式会社松月堂	
化粧筆、宝飾・漆化粧筆	株式会社丹精堂	
Eティモロセクショングリップ付きかき針セット 「広島針」針仕事	チュリーップ株式会社	
Aiko Beads	トーホー株式会社	
伝統的工芸品 広島仏壇	広島宗教用具商工協同組合	
宮島御砂焼	宮島御砂焼 山根対蔵堂	

※事業者50音順



ロゴマーク

折り鶴から発想した折り紙をモチーフにし、広島の頭文字「h」を折り紙で折ったイメージで広島らしさを表現しています。また、確かな品質が保証されているという意味で使われる「折り紙付き」という意味も込めています。

平成26年12月31日現在で、「味わいのある一品」59品、「匠の銘品」11品、計70品を「ザ・広島ブランド」として認定しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。
<http://hiroshima-brand.jp/>

●「ザ・広島ブランド」第7回認定特産品(食品 2品)

※事業者50音順



広島のみ かきしぐれ 【有限会社珍味処なかむら】

広島名産の牡蠣を年間通じて召し上がって頂ける様にお客さまのご要望で開発した商品です。発売当初より味・製造方法は変わっておりません。広島産、主に広島湾北部海域の牡蠣を使用しております。



俵むすび 【株式会社むさし】

毎秋に米の出来具合が良いか、多くの産地の米を試食し納得のいく米を吟味しております。のり、塩、たれも同様に「お客様においしいものを食べていただく」一心にこだわっています。包装紙の笹模様が広島山の山間部で取れる笹の葉を何ヶ月も並べては考え創案したとも言われています。

●「ザ・広島ブランド」第7回認定特産品（工芸品等 2品）

エティモロゼクッショングリップ付きかぎ針セット 【チューリップ株式会社】

持ちやすく手が疲れにくいと評判のデザインのクッショングリップにすることにより、長時間でも楽に編み物をするができます。また、大きくて見えやすいサイズ表示により年配の方にも目に優しいデザインになっています。江戸時代から続く広島針の伝統技術を応用した技法で製造するかぎ針は、とても編みやすく、デザイン性も優れているため、世界各国のデザイナーや一般ユーザーから好評を得ています。



江戸時代から続く広島針の伝統技術を応用した技法で製造するかぎ針は、とても編みやすく、デザイン性も優れているため、世界各国のデザイナーや一般ユーザーから好評を得ています。

「広島針」針仕事 【チューリップ株式会社】

広島針の歴史は300年以上前、浅野藩が下級武士の手内職として普及させたことに始まり、「たたら製鉄」によってできた鉄を太田川の水運を利用して、現在の広島市に運び、そこで針に加工することで発展してきました。広島のお宮島の大鳥居をイメージした、広島のお土産にぴったりなパッケージ。大きめの針穴、丈夫なボディ、すどい針先、スムーズな布通りが特徴で、徹底した品質管理のもとに作られた高品質の針です。



ひろしまそだち



◆ “ひろしまそだち”は、広島市内の農林漁業者が広島市内で生産した農林水産物及びその加工品です。産地が近いので新鮮、生産者が身近にいるので安心です。

◆ この良さを皆さんに知っていただくために、広島市食農コーディネーターや“ひろしまそだち”野菜アドバイザーを育成するとともに、“ひろしまそだち”地産地消協力店制度を設けています。

皆さんも“ひろしまそだち”マーク（左図）のついた産品を見かけたら、ぜひ買って食べてみてください。

“ひろしまそだち”の野菜は、“ひろしまそだち”マークのついた出荷袋などで販売されています。



野菜アドバイザーの活動の様子



「広島市産」表示の出荷袋に入ったコマツナ

“ひろしまそだち”野菜アドバイザーは、小売店や料理教室で“ひろしまそだち”野菜の旬や食べ方などの情報を伝えるとともに、消費者ニーズを生産者に伝えます。

広島市食農コーディネーターは、農作物の栽培から収穫や調理体験などの食と農の理解を進める取組みについて、企画、助言、運営に携わる市民ボランティアです。

“ひろしまそだち”地産地消協力店制度は、“ひろしまそだち”産品を通じた地産地消を進めるため、生産者と消費者の橋渡し役として積極的に販売する小売店・直売所、産品を利用する飲食店を募集・登録するものです。



協力店は、“ひろしまそだち”協力店証などが目印です

路面電車

車両数・年間輸送人員日本一

平成 26 年（2014 年）3 月末現在、路面電車の車両数は 132 両、年間輸送人員は 3,869 万人で、それぞれ日本一です。



水辺のオープンカフェ

日本初の河川空間の民間常設型店舗

「水の都ひろしま」の実現に向けて、京橋川右岸河岸緑地内に設置しています。全国で初めて河川空間で民間事業が営業する飲食店舗を常設しました。



クロサイのハナ

長寿世界一

平成 24 年（2012 年）12 月末現在、世界には 313 頭のクロサイが 74 施設で飼育されていますが、生存する長寿第 1 位は広島市安佐動物公園で飼育されているハナ（雌、推定 48 歳）です。



広島市まんが図書館

公立で全国唯一のまんが専門館

広島市まんが図書館は、平成 9 年（1997 年）5 月 1 日、公立で初めての漫画専門の図書館として開館しました。平成 26 年（2014 年）3 月末現在で、約 12 万 3,000 冊の蔵書数を誇ります。



オオサンショウウオ

世界初の飼育下繁殖での三世誕生

広島市安佐動物公園は平成 19 年（2007 年）10 月 19 日、飼育下での三世誕生に世界で初めて成功しました。



アストラムライン

新交通システムの長さ日本一

平成 25 年（2013 年）3 月末現在、アストラムラインの営業キロは全長 18.4km で、新交通システムの長さとしては日本一です。



広島国際アニメーションフェスティバル

アジア地区唯一のアカデミー賞公認のアニメーション映画祭

国際アニメーションフィルム協会（ASIFA）の公認を受けて開催されるイベントで、広島市では、「愛と平和」をテーマに昭和 60 年（1985 年）より開催し、平成 26 年（2014 年）で第 15 回を数えました。第 15 回大会は過去最多の応募（2,217 作品）があり、国内外から 3 万人以上が来場しました。





名誉市民・特別名誉市民

本市では、昭和37年（1962年）から広島市名誉市民条例により、市民又は市に縁故の深い人で、公共の福祉を増進し、又は学術技芸の進展に貢献し、その功績が卓絶で郷土の誇りとして市民から深く尊敬されている人に対し“広島市名誉市民”の称号を贈っています。

また、本市を来訪した外国人で、国際親善その他の目的で特に関わりの深い人に対し“広島市特別名誉市民”の称号を贈っています。

名誉市民（20名）

氏名	顕彰年月日	備考
浅野長武	昭和38年(1963年)12月10日	私財を寄附、本市の教育文化厚生施設等の建設に貢献(昭和44年(1969年)死亡)
佐藤信安	〃	13代広島市長として市政の発展に貢献(昭和39年(1964年)死亡)
森戸辰男	〃	広島大学学長として、地方文化、教育の発展に貢献(昭和59年(1984年)死亡)
愛宮真備	昭和43年(1968年)4月1日	被爆後、ドイツより帰化、原爆の惨禍と世界平和の尊さを国内・外に訴え、広島平和記念聖堂の建立に貢献(平成2年(1990年)死亡)
松坂義正	昭和49年(1974年)4月1日	原爆被爆者の救援・障害の調査・研究に貢献(昭和54年(1979年)死亡)
田中好一	〃	地域経済、私学教育の振興など社会の発展に貢献(昭和56年(1981年)死亡)
重藤文夫	昭和50年(1975年)7月17日	原爆病院(現 広島赤十字・原爆病院)の設置及び被爆患者の治療など被爆市民の福祉向上に貢献(昭和57年(1982年)死亡)
永野重雄	昭和55年(1980年)4月1日	産業経済の発展、国際親善の進展に貢献(昭和59年(1984年)死亡)
増本量	〃	インバー及びエリンバー不変鋼に関する新法則並びに新合金の発見開発により世界金属界に貢献(昭和62年(1987年)死亡)
森本亨	〃	社会福祉の向上、政令指定都市実現に貢献(昭和62年(1987年)死亡)
灘尾弘吉	昭和59年(1984年)4月18日	被爆者援護、教育・文化・スポーツの振興及び福祉の向上、政令指定都市実現に貢献(平成6年(1994年)死亡)
織田幹雄	平成元年(1989年)7月5日	広島スポーツ界の競技力向上、スポーツの普及及び振興、第12回アジア競技大会の広島招致、第1回ワールドカップマラソン広島大会の開催に貢献(平成10年(1998年)死亡)
島原帆山	〃	重要無形文化財尺八の保持者(人間国宝)、尺八の指導と演奏活動を通じ伝統文化の普及及び振興に貢献(平成13年(2001年)死亡)
原田東岷	〃	原爆被害者の治療・広島原爆被害者対策協議会の設立に尽力、世界平和の推進、文化振興に貢献(平成11年(1999年)死亡)
平山郁夫	平成10年(1998年)12月14日	広島市現代美術館、広島市立大学、広島平和研究所の開設、原爆ドームの世界遺産一覧表への登録に尽力、文化の振興、平和の推進に貢献(平成21年(2009年)死亡)
阿川弘之	平成15年(2003年)4月2日	原爆被害と人々の暮らしを描いた作品を発表、文学界に新境地を拓き、文学界の振興に貢献(神奈川県横浜市在住)
井口洋夫	〃	有機半導体の概念を提示し確立、分子エレクトロニクスに至る広大な分野を開拓・先導、科学の進展に貢献(平成26年(2014年)死亡)
新藤兼人	〃	原爆の悲惨さや核実験による被爆の悲劇をテーマとした作品を通じて平和を訴えるなど、映像文化の振興に貢献、本市平和の推進と文化の振興に尽力(平成24年(2012年)死亡)
三宅一生	平成22年(2010年)9月28日	画期的な衣服の概念や斬新な発想で世界的な衣服デザイナーとして活躍するとともに、「ヒロシマの心」を広く世界にアピールし、芸術文化の振興や平和の推進に貢献(東京都渋谷区在住)
森下洋子	〃	世界的なプリマバレリーナとして活躍するなど日本でなじみの少なかったクラシックバレエの定着に尽力し、芸術文化の振興に貢献(東京都港区在住)

特別名誉市民 (33 名)

氏名	顕彰年月日	備考
ニール・ブレイズデル	昭和38年(1963年)11月9日	ホノルル市長として姉妹都市提携に尽力(昭和50年(1975年)死亡)
ノーマン・カズンズ	昭和39年(1964年)3月3日	原爆孤児に物心両面の援助など平和運動に尽力(平成2年(1990年)死亡)
アイラ・モーリス	昭和42年(1967年)4月1日	被爆者援助を通じて平和運動に尽力(昭和47年(1972年)死亡)
エディタ・モーリス	〃	被爆者援助を通じて平和運動に尽力(昭和63年(1988年)死亡)
バーバラ・レイノルズ	昭和50年(1975年)10月15日	日本及び世界各国で平和活動に尽力(平成2年(1990年)死亡)
メアリー・マクミラン	昭和55年(1980年)4月1日	広島市での多年にわたる女子教育、平和教育、社会福祉などに貢献(平成3年(1991年)死亡)
フランク・ファシー	昭和56年(1981年)5月3日	ホノルル市長として姉妹都市交流に尽力(平成22年(2010年)死亡)
フロイド・シュモー	昭和58年(1983年)11月15日	「ヒロシマの家」の建設・寄附を通じて平和運動に尽力(平成13年(2001年)死亡)
アイリーン・アンダーソン	昭和58年(1983年)11月19日	ホノルル市長として姉妹都市交流に尽力(アメリカ在住)
ヘルベルト・シュマルシュティーク	昭和58年(1983年)11月28日	ハノーバー市長として姉妹都市交流に尽力(ドイツ在住)
ウラジミール・アトポフ	昭和60年(1985年)8月3日	ボルゴグラード市長として姉妹都市交流に尽力(ロシア連邦在住)
プリモ・ネピオロ	昭和62年(1987年)4月8日	国際陸上競技連盟会長としてワールドカップマラソンなど陸上競技の国際大会の広島開催に尽力(平成11年(1999年)死亡)
シェイク・ファハド	昭和62年(1987年)8月4日	アジアオリンピック評議会会長として第12回アジア競技大会の広島開催決定に尽力(平成2年(1990年)死亡)
ユーリ・スタロバトフ	平成元年(1989年)8月4日	ボルゴグラード市長として姉妹都市交流に尽力(ロシア連邦在住)
シャオ・ヤン 肖 秧	平成元年(1989年)9月28日	重慶市長として友好都市提携に尽力(平成10年(1998年)死亡)
ソン・トン・チュアン 孫 同 川	平成元年(1989年)10月11日	重慶市長として友好都市交流に尽力(中国在住)
ルーベン・アコスタ・ヘルナンデス	平成元年(1989年)11月20日	国際バレーボール連盟会長としてバレーボール・ワールドカップの広島での開催に尽力(メキシコ在住)
ユーリ・チェーホフ	平成4年(1992年)10月23日	ボルゴグラード市長として姉妹都市交流に尽力(ロシア連邦在住)
ジェラミー・ハリス	平成11年(1999年)6月10日	ホノルル市長として姉妹都市交流に尽力(アメリカ在住)
ピエール・ブルク	平成12年(2000年)7月10日	モントリオール市長として姉妹都市提携に尽力(カナダ在住)
ムン・フィガブ 文熹甲	平成13年(2001年)5月2日	大邱広域市長として姉妹都市提携に尽力(大韓民国在住)
エフゲニー・ベトロヴィッチ・イシュチェンコ	平成17年(2005年)8月4日	ボルゴグラード市長として姉妹都市交流に尽力(ロシア連邦在住)
ジェラルド・トランブレイ	平成18年(2006年)4月14日	モントリオール市長として姉妹都市交流に尽力(カナダ在住)
ワン・ホンジュ 王 鴻 挙	平成18年(2006年)5月21日	重慶市長として友好都市交流に尽力(中国在住)
キム・ボウル 金 範 鎔	平成19年(2007年)5月4日	大邱広域市長として姉妹都市交流に尽力(大韓民国在住)
シュテファン・ヴァイル	平成20年(2008年)5月26日	ハノーバー市長として姉妹都市交流に尽力(ドイツ在住)
ムフィ・ハネマン	平成21年(2009年)11月5日	ホノルル市長として姉妹都市交流に尽力(アメリカ在住)
ダグラス・ロウチ	平成22年(2010年)7月28日	中堅国家構想名誉議長として平和運動に尽力(カナダ在住)
パン・ギムン 潘 基 文	平成22年(2010年)8月6日	国際連合事務総長として平和運動に尽力(アメリカ在住)
ピーター・カーライル	平成23年(2011年)8月5日	ホノルル市長として姉妹都市交流に尽力(アメリカ在住)
ヴァレリイ・デニソヴィチ・ヴァシルコフ	平成24年(2012年)11月9日	ボルゴグラード市長として姉妹都市交流に尽力(ロシア連邦在住)
ドニ・コデール	平成26年(2014年)8月5日	モントリオール市長として姉妹都市交流に尽力(カナダ在住)
カーク・コールドウェル	平成26年(2014年)8月5日	ホノルル市長として姉妹都市交流に尽力(アメリカ在住)



主要年表

年号	西暦	できごと
縄文時代終り		比治山貝塚ができる
弥生時代		中山貝塚ができる
宝亀 11年	780	牛田荘が大和国西大寺の荘園であった記録あり
応安 4年	1371	今川貞世が九州探題赴任の途中、干潮時、太田川の砂州を徒渉（としょう）（9月）
応永 4年	1397	五ヶ浦の地名が文書にあらわれる（厳島神社文書）
天文 10年	1541	安芸国の守護武田氏、大内氏に攻められ滅亡（5月）
弘治 元年	1555	厳島合戦で毛利元就が陶氏を破る（10月）
天正 17年	1589	毛利輝元が五ヶ（五ヶ村）で築城に着手、この地を「広島」と命名（4月）
19年	1591	広島城が完成し輝元入城（1月）
慶長 5年	1600	関ヶ原の戦いにより輝元は防長2か国に移される（10月）
6年	1601	福島正則広島城に入城（3月）
元和 5年	1619	城の無断修築の罪で正則は改易となり（6月）、信濃国川中島に転封（7月） 和歌山から浅野長晟入城（8月）
承応 2年	1653	大暴風雨と洪水で死者多数（8月）
寛文 元年	1661	段原村・比治山村・山崎新開・大黒新開・吉島新開の地詰めを行う（6月）
宝暦 8年	1758	白神五丁目から出火し、元安川以東の城下町の大部分が焼失（4月）
天明 3年	1783	この年の気候不順による凶作のため飢民多し
文政 8年	1825	広島藩の地誌「芸藩通志」完成（8月）、広島城下については「知新集」が文政5年に完成
元治 元年	1864	二度にわたり長州役、広島に幕府軍集結
慶応 2年	1866	
明治		
2年	1869	版籍奉還、旧藩主浅野長勲が藩知事に任ぜられる（6月）
5年	1872	前年の廃藩置県に続き、広島は第一大区となる（4月）
6年	1873	広島に鎮台を置き、第五軍管広島鎮台と称する（11月）
11年	1878	郡区町村編制法により、広島区となる（11月）
22年	1889	市制施行（4月）、人口8万387人 市役所（中島新町）開庁（9月） 宇品築港工事完了（11月）
27年	1894	糸崎・広島間の山陽鉄道開通（6月） 大本営を広島に設置（9月～翌年4月）、臨時帝国議会在広島で開会 市内に電灯ともる（10月）
32年	1899	広島市上水道が陸軍諸部隊及び市内一般に給水開始（1月）
33年	1900	広島郵便電信局内に電話交換局が設置（9月）、翌年2月交換開始
35年	1902	広島高等師範学校設置（4月）
37年	1904	安芸郡仁保島村字宇品島を広島市に編入（9月）
38年	1905	横川・可部間に乗合自動車開業（2月）
42年	1909	広島瓦斯株式会社創立（10月）、翌年10月供給開始
大正		
元年	1912	市内に電車軌道を敷設し、電車の運転を開始（11月）
4年	1915	芸備鉄道広島・三次間開通（6月）
7年	1918	全国的な米騒動が広島市にも波及し軍隊出動鎮圧（8月）
10年	1921	第4回全国菓子飴大品評会開催（4月）
昭和		
3年	1928	日本放送協会中国支部広島放送局開局（7月）
4年	1929	昭和産業博覧会開催（3～5月） 安芸郡牛田村等隣接7か町村を広島市に合併（4月） 広島文理科大学創立（4月）
7年	1932	宇品港を広島港と改称（12月）
20年	1945	8月6日午前8時15分原子爆弾により広島市は壊滅
22年	1947	第1回平和祭開催（8月）
24年	1949	広島大学設置（5月） 「広島平和記念都市建設法」が公布（8月）
25年	1950	広島子ども博覧会開催（10月～11月）
26年	1951	第6回国民体育大会開催（10月）
27年	1952	広島平和都市記念碑（原爆死没者慰霊碑）除幕（8月）
30年	1955	安芸郡戸坂村を広島市に合併（4月） 広島平和記念資料館が開館（8月）
31年	1956	安芸郡中山村（4月）、佐伯郡井口村（11月）を広島市に合併

年号	西暦	できごと
昭和 31 年	1956	広島原子力平和利用博覧会開催（5～6月）
32 年	1957	旧広島市民球場完成、広島バスセンター開業（7月）
33 年	1958	広島復興大博覧会開催（4～5月）
34 年	1959	米国・ハワイ州ホノルル市と姉妹都市提携に調印（6月）
36 年	1961	広島空港開港（9月）
39 年	1964	人口 50 万人に達する（4月） 広島・小郡間電化完成に伴い国鉄山陽本線全線電化（10月）
40 年	1965	太田川放水路通水（5月） 広島民衆駅完成（12月）
41 年	1966	新広島国道開通（12月）
42 年	1967	原爆ドーム保存工事が完了（8月）
43 年	1968	「被爆者特別措置法」が公布（5月）
46 年	1971	安佐郡沼田町（4月）、同郡安佐町（5月）を広島市に合併
47 年	1972	安佐郡可部町（4月）、同郡祇園町（8月）を広島市に合併 ソ連・ボルゴグラード市と姉妹都市提携に調印（9月）
48 年	1973	安佐郡安古市町・佐東町・高陽町・安芸郡瀬野川町（3月）、高田郡白木町（10月）を広島市に合併
49 年	1974	市立中央図書館開館（10月） 安芸郡熊野跡村・安芸町を広島市に合併（11月）
50 年	1975	安芸郡矢野町・船越町を広島市に合併（3月） 山陽新幹線岡山・博多間が開通（3月） 長崎市と平和文化都市提携に調印（8月） 広島東洋カープがセントラルリーグ初優勝（10月）
52 年	1977	第 1 回ひろしまフラワーフェスティバルを開催（5月）
53 年	1978	国連軍縮特別会議に市長が列席、ヒロシマ・ナガサキ原爆写真展を開催（5月） 「国連軍縮週間」で原爆被害写真展等を実施（10月）
55 年	1980	政令指定都市広島誕生、7 区役所開所（4月）
56 年	1981	ローマ法王来広、平和記念公園から全世界へ向けて平和アピールを発表（2月） 広島市の人口 90 万人を超える（8月）
57 年	1982	西部開発事業竣工（3月） 市長、国連軍縮特別総会で核兵器の廃絶を訴える（6月）
58 年	1983	西独・ハノーバー市と姉妹都市提携に調印（5月）
60 年	1985	佐伯郡五日市町を広島市に合併、人口 100 万人を超える（3月） '85 ワールドカップマラソン広島大会を開催（4月） 第 1 回世界平和連帯都市市長会議を開催（8月） 第 1 回国際アニメーションフェスティバル広島大会を開催（8月）
61 年	1986	中国・重慶市と友好都市提携に調印（10月） 国際駅伝広島大会を開催（11月）
62 年	1987	ジャーナリスト国際平和シンポジウムを開催（8月）
63 年	1988	祇園新道が開通（暫定）（3月）
平成 元年	1989	現代美術館が開館（5月） 広島国際会議場が開館（7月） '89 海と島の博覧会・ひろしまを開催（7月～10月） 第 2 回世界平和連帯都市市長会議を開催（8月）
3 年	1991	新交通システムで橋げた落下事故が発生（3月） 世界平和連帯都市市長会議が国連憲章に基づく NGO（非政府組織）として認定される（5月） 広島ビッグウェーブ（総合屋内プール）が開館（8月） 台風 19 号が大きな被害をもたらす（9月）
4 年	1992	国連軍縮広島会議を開催（6月） 広島ビッグアーチ（広島広域公園陸上競技場）が完成（10月） 第 10 回アジアカップサッカー選手権決勝大会を開催（10月）
5 年	1993	比治山トンネル開通（1月） 広島空港（三原市）、広島西飛行場が開港（10月）
6 年	1994	広島市立大学開学（4月） アストラムライン開業（8月） 第 12 回アジア競技大会を開催（10月）
7 年	1995	原爆ドームが文化財保護法の史跡に指定される（6月） 市長、オランダ・ハーグの国際司法裁判所で核兵器の違法性について口頭陳述（11月）

年号	西暦	できごと
平成8年	1996	第1回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会（ひろしま男子駅伝）開催（1月） 第1回フードフェスタ広島開催（2月） ひろしま国体開催（9～10月） 個人情報保護条例施行（10月） 原爆ドームの世界遺産一覧表への登録が決定（12月）
9年	1997	韓国・大邱広域市と姉妹都市提携に調印（5月）
10年	1998	カナダ・モントリオール市と姉妹都市提携に調印（5月）
11年	1999	広島駅南口Aブロック再開発ビル「エールエールA館」オープン（4月） 集中豪雨により大きな被害が発生（6月）
12年	2000	広島高速3号線（広島南道路）一部開通（3月） 都市計画道路・鷹野橋宇品線開通（3月） 第15回国民文化祭・ひろしま2000開催（11月）
13年	2001	芸予地震発生（3月） 紙屋町地下街「シャレオ」開業（4月） 広島西風新都インターチェンジ開通（7月） 第5回世界平和連帯都市市長会議開催（8月） 広島はつかいち大橋開通（8月） 金座街地区第6街区市街地再開発ビル「パルコ新館」オープン（10月） 広島高速4号線（広島西風新都線）開通（10月） 2001ねんりんピック広島開催（10月）
14年	2002	暴走族追放条例施行（4月） 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館が開館（8月） スポレク広島2002開催（10月） 広島国際フェリーポート完成（10月） ライトアップ「ひろしまドリミネーション」開催（12月）
15年	2003	中高一貫教育校市立安佐北中学校が開校（4月） 太田川花火大会を統合し、広島みなと夢花火大会を開催（7月） 国道2号西広島バイパス観音高架橋が開通（10月）
16年	2004	ぼい捨て等の防止に関する条例の罰則がスタート（1月） 第1回日米都市サミット広島2004開催（11月）
17年	2005	佐伯郡湯来町を広島市に合併（4月） 広島城秋まつりとフードフェスタ広島を統合し、ひろしまフードフェスティバルを開催（10月）
18年	2006	広島平和記念資料館の本館と世界平和記念聖堂が国の重要文化財指定（7月） 広島高速1号線（安芸府中道路）全線開通（10月） 「ひろしま型義務教育創造特区」を国が認定（11月）
19年	2007	平和記念公園が国の名勝指定（2月） 広島の歴史や文化、自然などに関する知識を問う「ひろしま通認定試験」開始（2月） 全米101都市で開催する「原爆展」開始（9月）
20年	2008	交通系ICカード「PASPY（パスピー）」導入（1月） 「ザ・広島ブランド」を創設し20品認定（3月） 主要8か国の下院議会及び欧州議会の長が一堂に集うG8下院議長会議開催（9月）
21年	2009	マツダスタジアム竣工式（3月） 広島・長崎両市長がNPT再検討会議準備委員会等に出席し、スピーチ（5月） 新しい基本構想と第5次基本計画を策定（10月） 「LRT都市サミット広島2009」を開催（10月） インターネット関連では世界最大級の国際会議「第76回IETF広島会議」開催（11月）
22年	2010	「2010年日本APEC（アジア太平洋経済協力会議）」の広島高級実務者会合を開催（2月） 「インターアクション・カウンスル年次総会（OBサミット）」を開催（4月） 広島高速2号線（全線）と3号線（宇品～吉島）が開通（4月） 「2020核廃絶広島会議」を開催（7月） 被爆65年目の平和記念式典に潘基文国連事務総長が列席（8月） JR広島駅新幹線口の若草町地区市街地再開発事業において再開発ビルが完成（8月） 「ノーベル平和賞受賞者世界サミット」開催（11月）
23年	2011	平和市長会議の加盟都市が5,000都市を突破（9月）
24年	2012	平和市長会議国内加盟都市会議を初開催（1月） 被爆体験伝承者の養成事業スタート（7月） 広島ヘリポートが供用開始（11月）
25年	2013	第26回全国菓子大博覧会・広島（ひろしま菓子博2013）を開催（4月～5月）

写真で振り返る市政この1年

平成 26 年 (2014 年) 1 月

5 日 「広島市消防出初式」を開催



2 月

6 日 被爆 70 周年記念事業・35 事業を公表

7 日 「京橋町地区第一種市街地再開発事業竣工式」を開催

8 日 一般国道 54 号可部バイパスの開通 (三入～大林間)

3 月

23 日 広島南道路・広島高速 3 号線の開通 (吉島～商工センター間)



27 日 段原東部地区再開発事業の完成記念式典を開催



27 日から (4 月 2 日まで) 住民異動手続の窓口受付時間を延長

29 日 一般国道 2 号東広島バイパスの開通 (瀬野西 I C～中野 I C間)

4 月

1 日 地方独立行政法人広島市立病院機構設立

1 日 広島中等教育学校開校

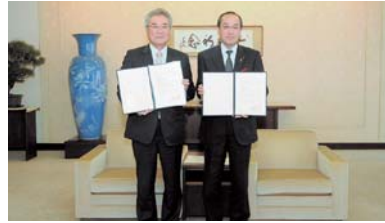
11 日、12 日 「NPD I (軍縮・不拡散イニシアティブ) 広島外相会合」の開催



14 日 広島駅南口 C ブロック市街地再開発事業の新しいビルの起工式が行われる。28 年に完成予定



16 日 「江田市・広島市海生交流協定」を締結



5 月

3 日 広島市現代美術館が開館 25 周年

3 日～5 日 「2014 ひろしまフラワーフェスティバル」を開催



6 月

5 日 「インフラ資産維持保全計画」を策定

5 日 広島市消防航空隊、新基地で運用開始



10 日 中国地方整備局長・広島市長懇談会を開催

14 日 広島市立大学開学 20 周年

24 日 ペニグノ・アキノ 3 世フィリピン共和国大統領来広



7 月

1 日 南区に公募型常設オープンスペース「こどもケアセンター い〜ぐる」を開設

3 日 「広島市景観計画」を策定

10 日 ひろしま西風新都命名 20 周年記念行事を開催

18 日 第 9 回ヒロシマ賞授賞式を開催



19 日から (10 月 13 日まで) 広島市現代美術館で第 9 回ヒロシマ賞受賞記念「ドリス・サルセド展」を開催

26日 「2014 広島みなと 夢 花火大会」を開催



8月

1日 原動機付自転車オリジナルナンバープレートの交付開始



6日 被爆69年目の平和記念式典を開催



中旬から9月下旬 「有給長期インターンシップ」のモデル事業を実施

20日 アストラムラインが開業20周年

20日 未明に発生した土砂災害により甚大な被害が発生



21日～25日 「第15回広島国際アニメーションフェスティバル」を開催



9月

2日 広島駅南口広場の再整備等に係る基本方針を決定

20日 平成26年8月豪雨災害県市合同追悼献花を実施

10月

1日 外国人観光客の受入環境の充実・強化に向けた実証実験「Hiroshima Free Wi-Fiプロジェクト」を開始



10日 「白島新駅」の名称発表。「新白島」に決定

27日 広島市立中央図書館開館40周年

11月

3日 広島市森林公園開園25周年記念日イベント「紅葉まつり」を開催

3日 「第34回ひろしま国際平和マラソン」を開催

5日 広島市安佐動物公園とホノルル市ホノルル動物園の姉妹動物園協定の締結



10日、11日 「第4回平和首長会議国内加盟都市会議総会」を長野県松本市で開催



17日から（1月3日まで）平和大通りなどで、「ひろしまドリミネーション2014」を開催

19日 安佐動物公園の歌の発売

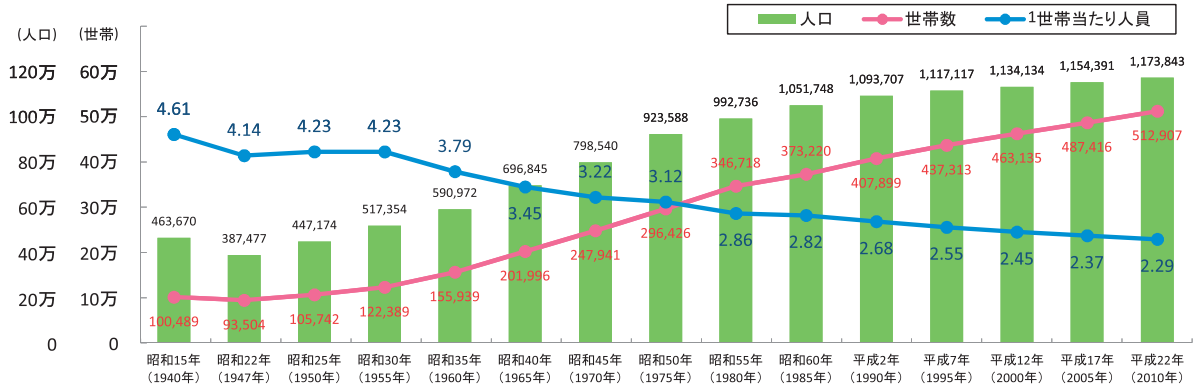


12月

1日 広島市飲酒運転根絶宣言



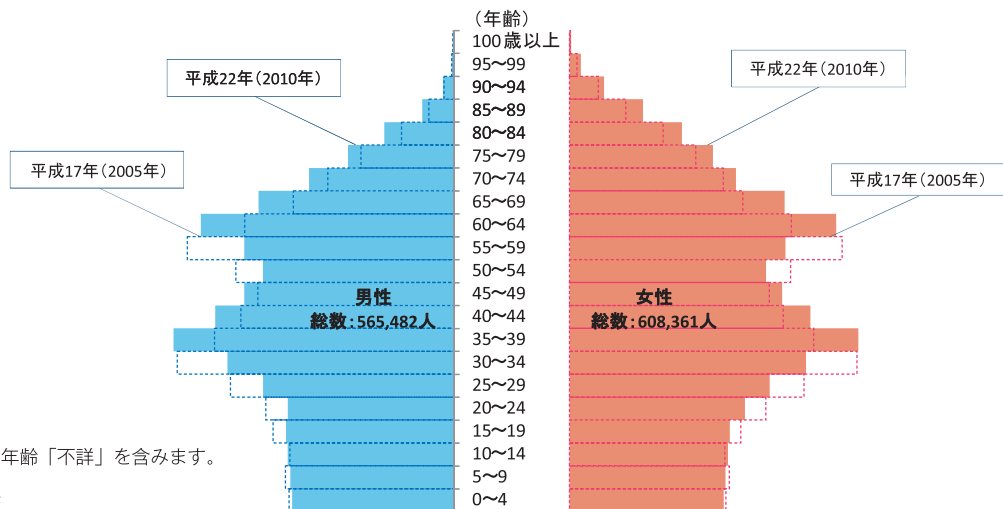
人口・世帯数の推移



注：広島市の数値は、現在の市域に組み替えたものです。

資料：国勢調査

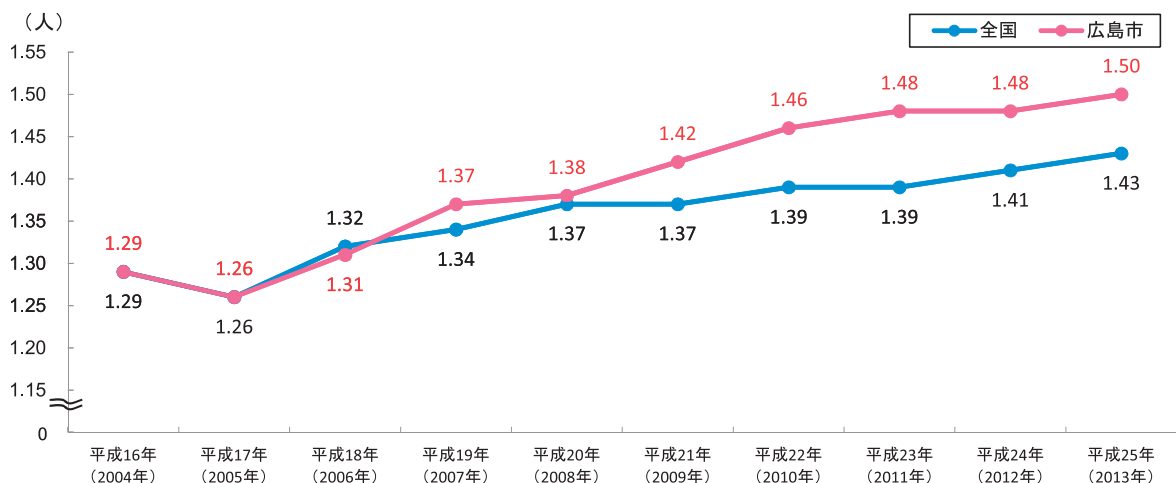
人口ピラミッド



注：総数には、年齢「不詳」を含みます。

資料：国勢調査

合計特殊出生率の推移



注：合計特殊出生率とは、15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生の間に生む平均子ども数を推計したものです。

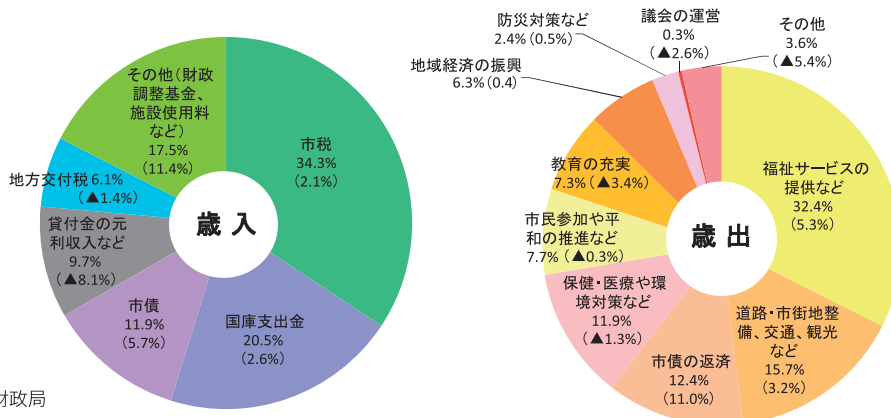
資料：全国＝厚生労働省、広島市＝企画調整課

平成26年度（2014年度）当初予算規模

区分	予算額	対前年度比(%)
一般会計	5,855億8,075万1千円	2.8
特別会計	4,072億4,052万9千円	7.4
企業会計	1,528億7,627万1千円	△22.9
全会計	1兆1,456億9,755万1千円	△0.1

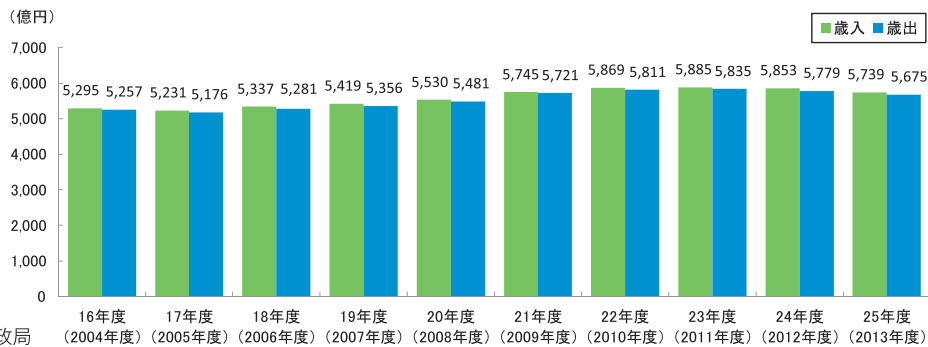
資料：広島市財政局

平成26年度（2014年度）当初予算一般会計の内訳（対前年度比）



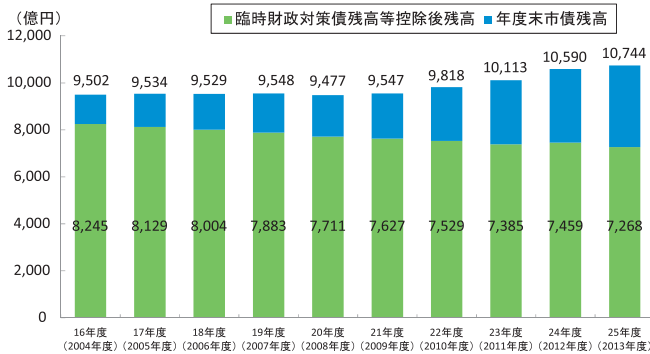
資料：広島市財政局

一般会計歳入・歳出決算額の推移



資料：広島市財政局

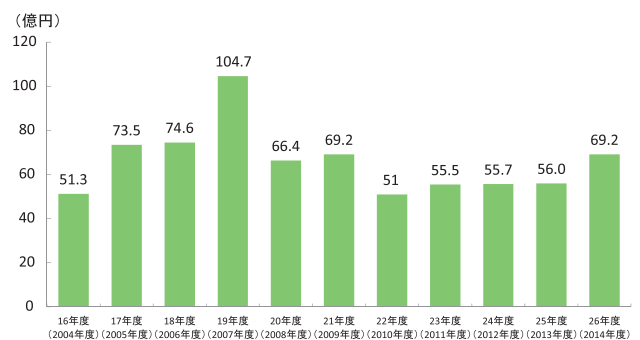
市債（借金）の残高の推移



注1：市債残高の数値は決算です。
 注2：臨時財政対策債残高等控除後残高とは、市債残高の総額から、臨時財政対策債残高と、将来の返済に備えて減債基金に積み立てている額を除いた額のことです。

資料：広島市財政局

当初予算編成時における財政調整基金（貯金）の推移



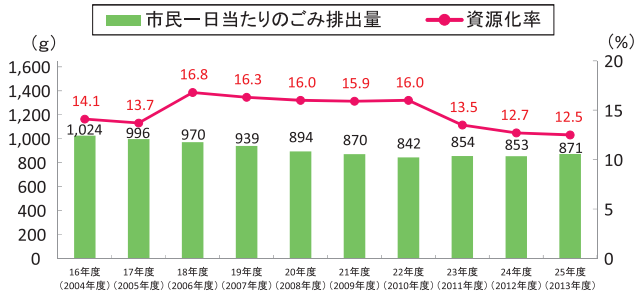
資料：広島市財政局



ごみ・環境問題

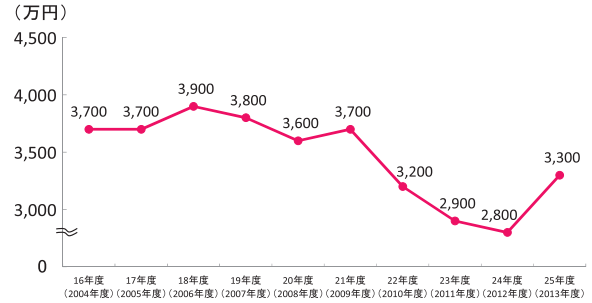
統計で見る広島市

市民一人当たりのごみ排出量と資源化率の推移



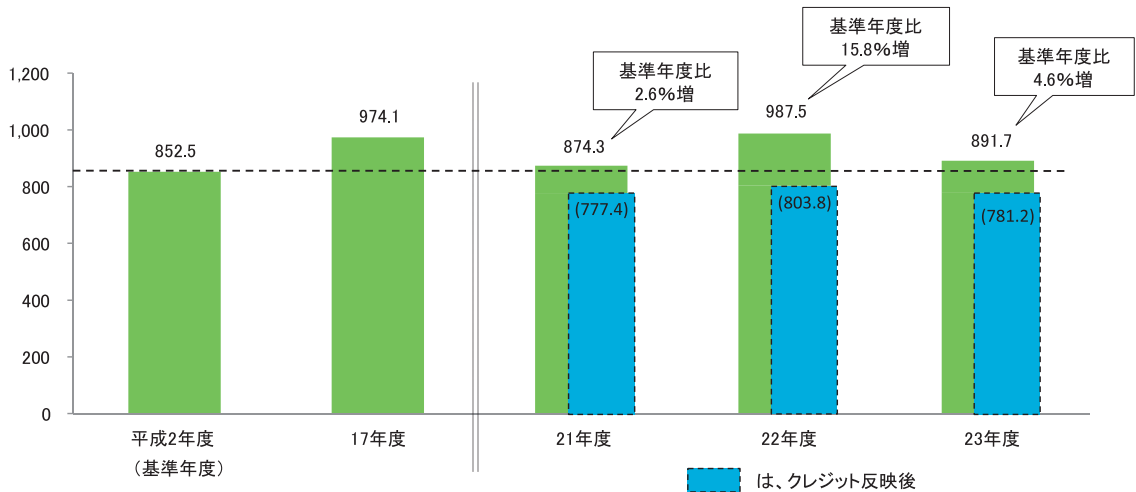
資料：広島市環境局

一日当たりのごみ処理経費の推移



資料：広島市環境局

温室効果ガス総排出量の推移



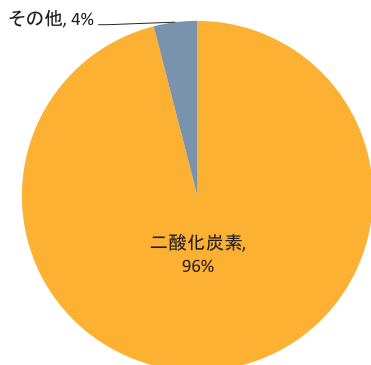
※ 1：平成21年度以降について、新たな算定方法による排出量の算定を行いました。なお、これまでの基準年度としてきた平成2年度と、国が新たな削減目標において基準年度としている平成17年度について、今後比較を行うために新たな算定方法による推計を行いました。

※ 2：京都議定書において導入された、京都メカニズムクレジット（他国での排出削減プロジェクトの実施による削減量を自国での削減に換算できるしくみ）を反映した排出量（青いグラフ）を参考までに掲載しています。

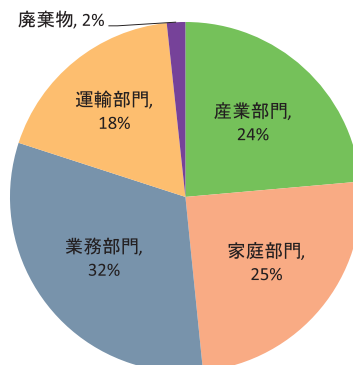
資料：広島市環境局

温室効果ガス排出量の構成（平成23年度（2011年度））

各温室効果ガスの構成比



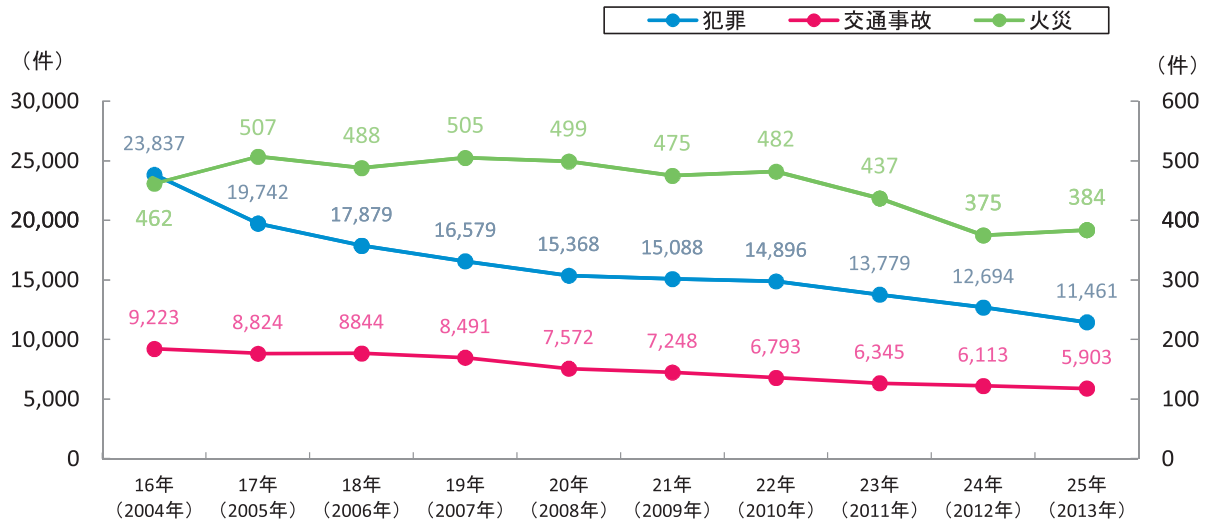
二酸化炭素排出量の部門別構成比



注：単位未満を四捨五入しているため、割合の合計は100になりません。

資料：広島市環境局

犯罪・交通事故・火災発生件数の推移



資料：広島県犯罪統計資料、広島市道路交通局、広島市消防局

犯罪・交通事故・火災発生件数の内訳 (平成25年)

犯罪認知件数の内訳						
総数	凶悪犯(殺人・強盗など)	粗暴犯(暴行・傷害など)	窃盗犯(自転車・万引きなど)	知能犯(詐欺・横領など)	風俗犯(賭博、わいせつなど)	その他
11,461	87	754	7,785	530	136	2,169

交通事故発生件数の原因別内訳							
総数	安全運転義務違反	交差点安全進行業務違反	歩行者等妨害(※1)	信号無視(※2)	一時不停止	優先通行妨害	その他
5,903	4,520	470	223	195	69	64	362

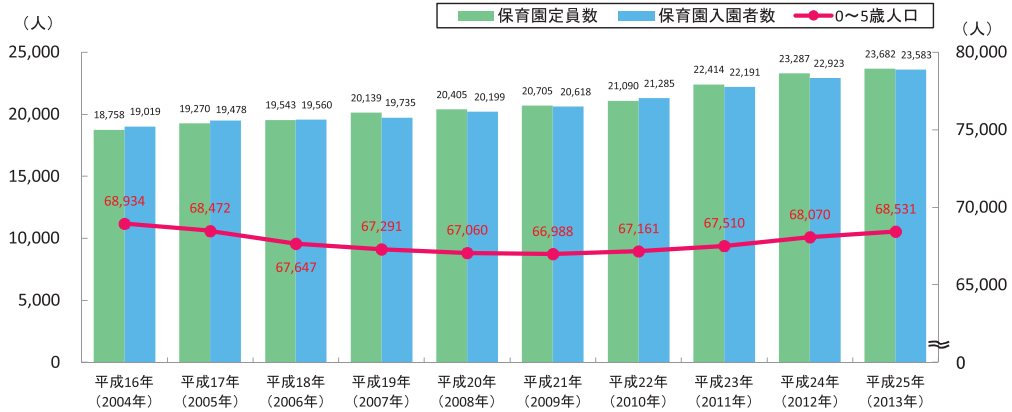
火災発生件数の原因別内訳							
総数	放火・放火の疑い	たばこ	こんろ	火遊び	たき火	ストーブ	その他
384	75	66	38	29	28	17	131

※1：横断自転車妨害を含みます。
 ※2：歩行者の信号無視を含みます。

資料：広島県犯罪統計資料、広島市道路交通局、広島市消防局

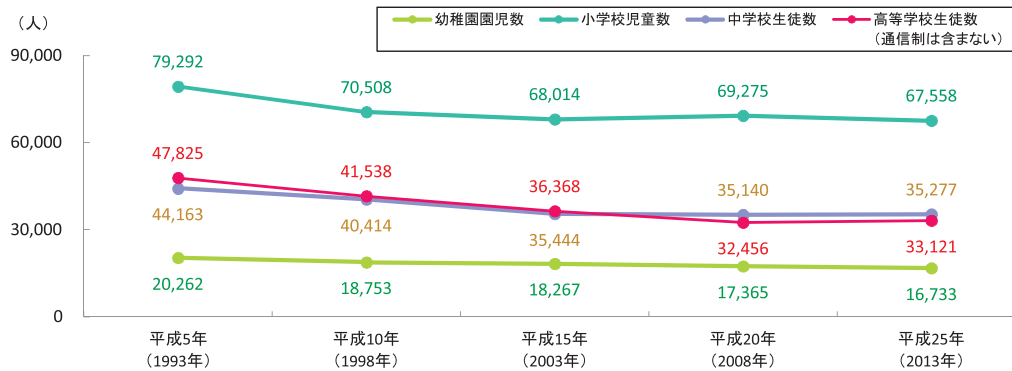


保育園入園状況の推移



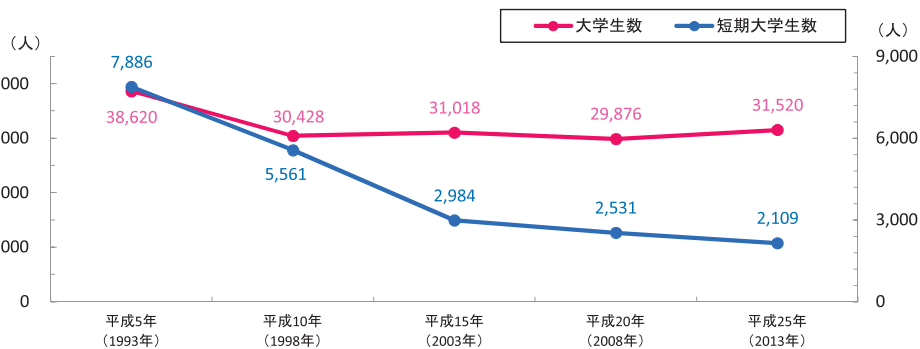
注：保育園定員数・入園者数は各年5月1日現在の値。0～5歳人口は各年4月末日の値
資料：広島市こども未来局

園児数・児童数・生徒数の推移



資料：広島市教育委員会事務局

短期大学・大学生数の推移



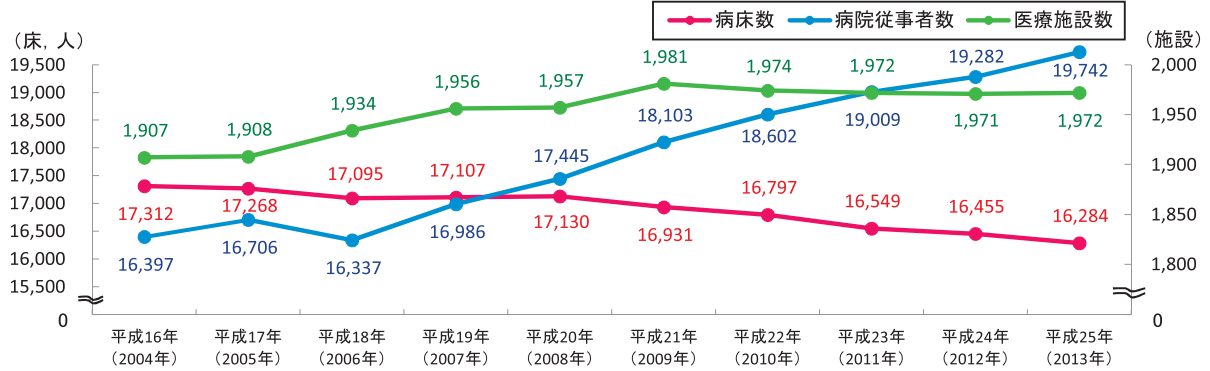
注：大学生数は、大学院生数を含みます。
資料：広島市教育委員会事務局

各学校数（平成25年5月1日現在）

幼稚園数	小学校数	中学校数	高等学校数	短期大学数	大学数
113	147	77	44	5	15

資料：広島市教育委員会事務局

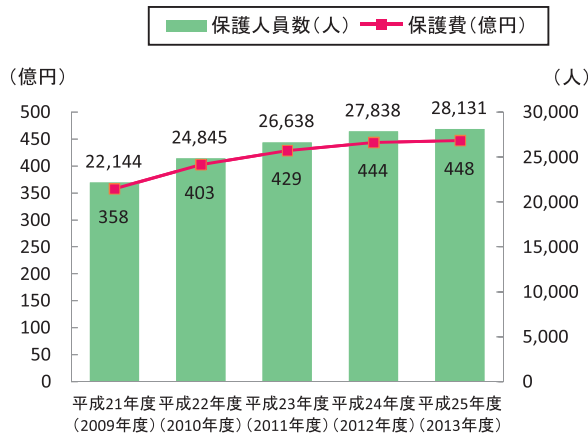
病床数・病院従事者数・医療施設数の推移



注：病床数と医療施設数は、病院と一般診療所・歯科診療所を合わせた数値です。

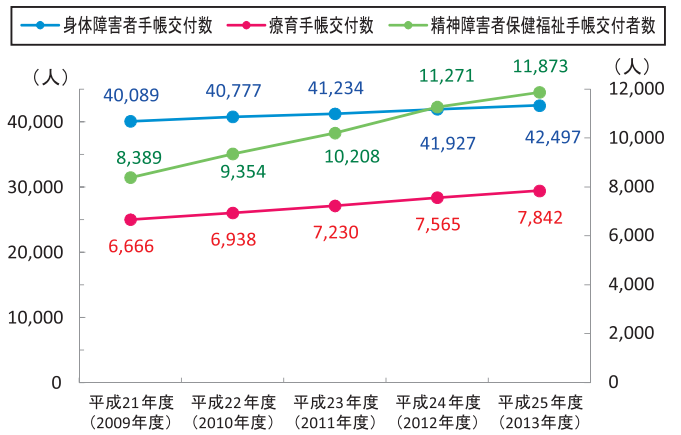
資料：医療施設調査、病院報告

生活保護人員・保護費の推移



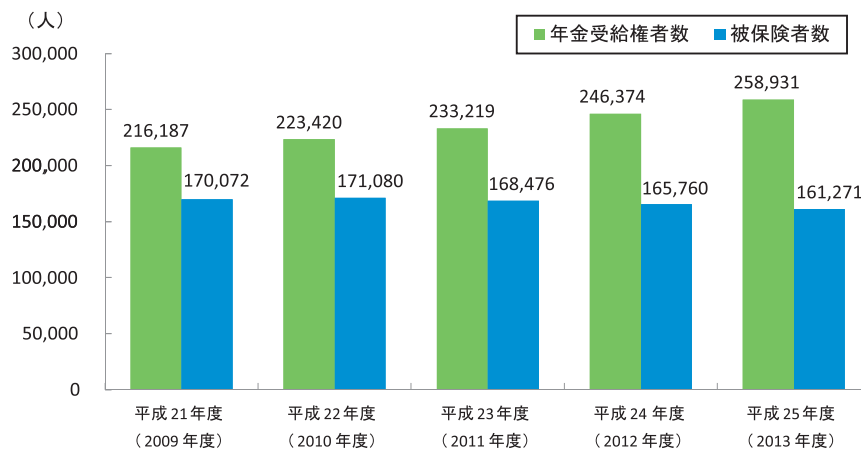
資料：広島市健康福祉局

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳交付者数



資料：広島市健康福祉局

国民年金受給権者数・被保険者数



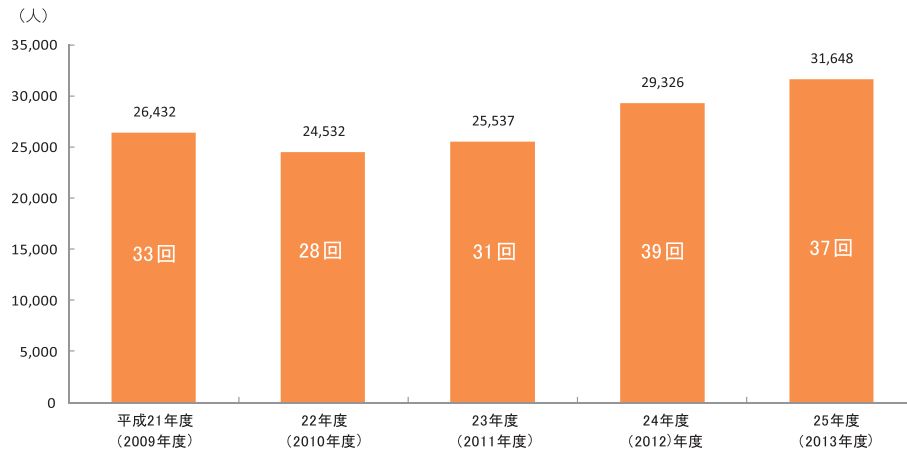
注1：年金受給権者数は、抛出处及び無抛出处の各年金受給権者数の合計です。

注2：被保険者数は、第1号及び任意加入の各被保険者数の合計です。

資料：広島市健康福祉局

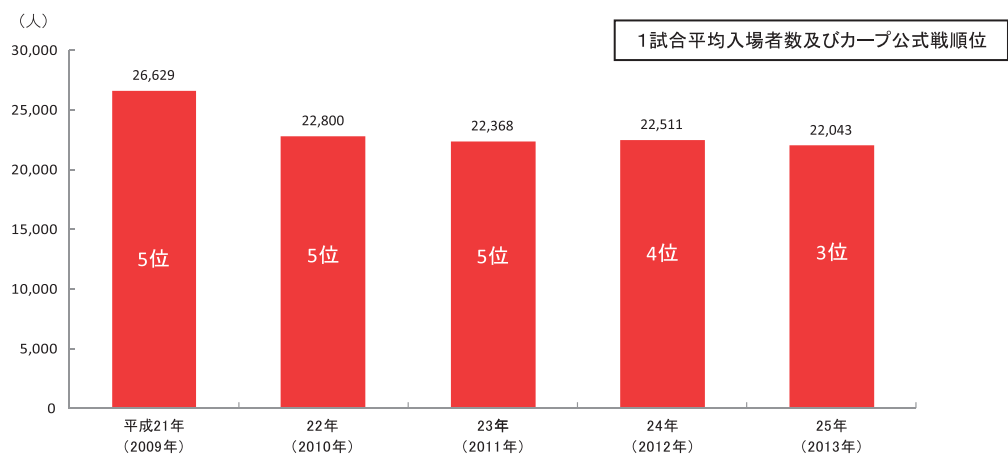


広島交響楽団 観客数・演奏会（広島交響楽団主催の市内分）回数



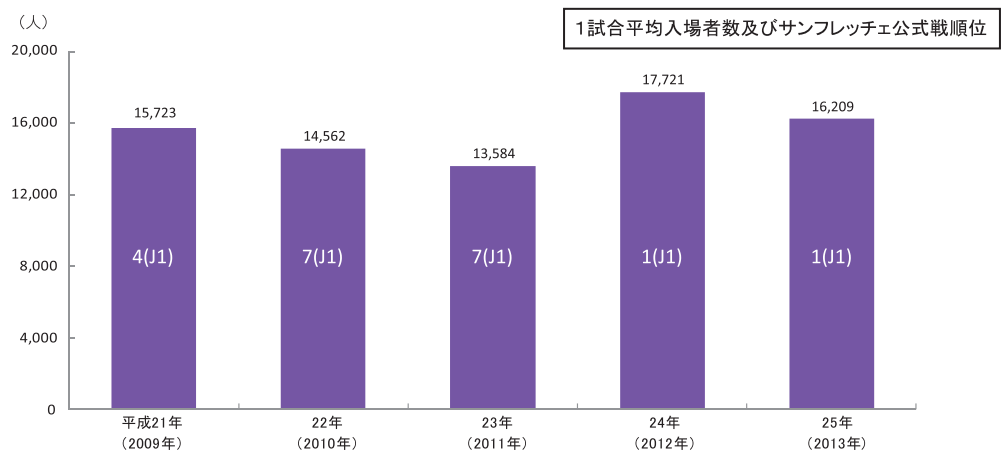
資料：広島市市民局

広島市民球場 プロ野球公式戦開催状況



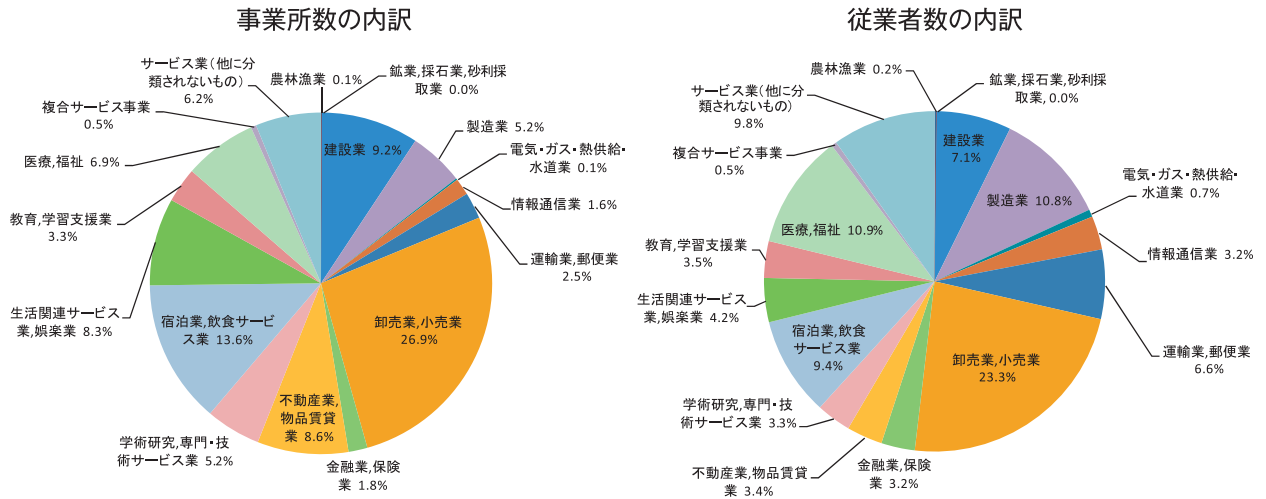
資料：広島市都市整備局

広域公園陸上競技場（エディオンスタジアム広島）でのJリーグ公式戦開催状況



資料：広島市都市整備局、市民局

産業別事業所数・従業者数の内訳



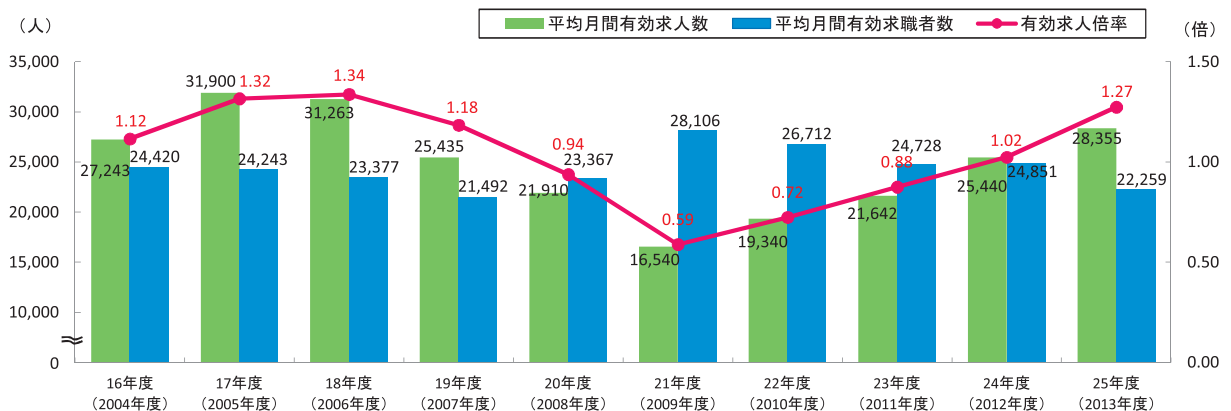
資料：平成 24 年経済センサス-活動調査

農業・商業・工業における事業所数等の推移

農業					
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
農家数	10,687	9,534	8,254	7,295	6,785
農業就業人口(人)	9,272	7,573	6,311	4,253	3,232
商業(卸売業、小売業)					
	平成11年	平成14年	平成16年	平成19年	平成23年
事業所数	17,376	15,583	15,060	13,872	14,332
従業者数(人)	150,120	136,578	130,549	120,985	133,048
年間商品販売額(億円)	96,963	86,866	80,326	76,967	69,921
工業(製造業)					
	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
事業所数	1,471	1,371	1,344	1,403	1,296
従業者数(人)	54,265	50,336	51,024	50,539	52,013
製造品出荷額等(億円)	25,341	18,683	21,923	22,287	21,987

資料：農林業センサス、商業統計調査、工業統計調査、経済センサス-活動調査

求人・求職者・求人倍率推移



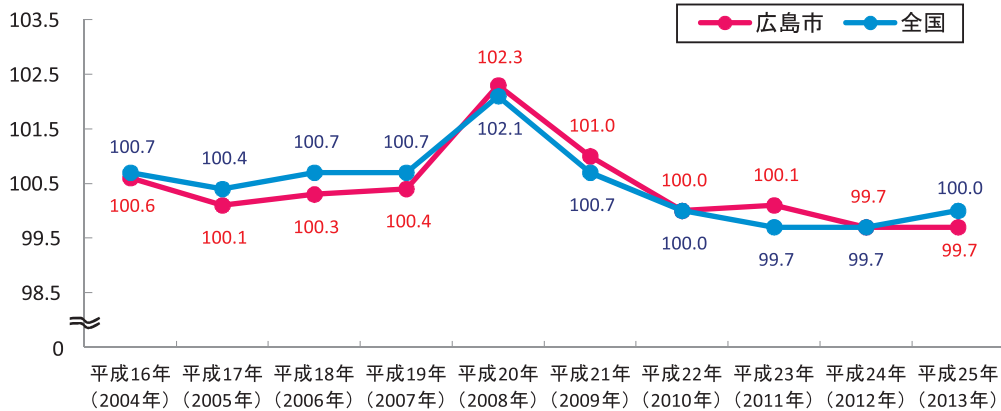
注1：求人数及び求職者数は広島・広島東・可部公共職業安定所の合計です。

注2：有効求人倍率=平均月間有効求人数/平均月間有効求職者数

資料：広島公共職業安定所、広島東公共職業安定所、可部公共職業安定所



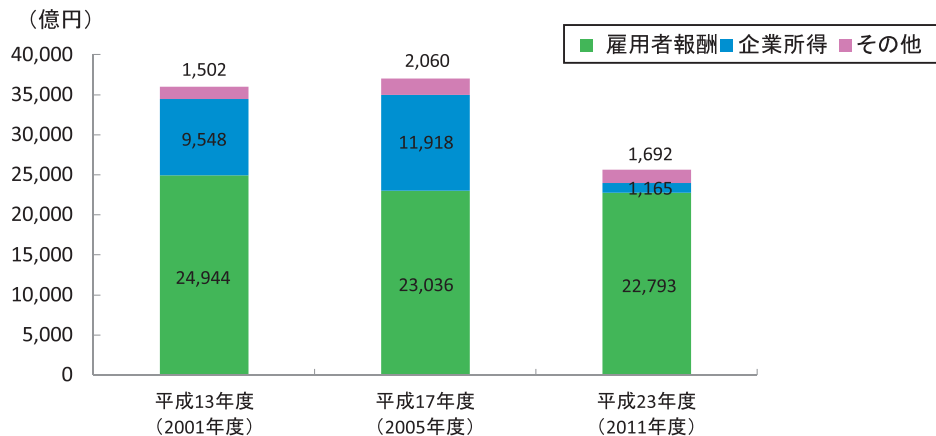
消費者物価指数（総合）の推移



注：消費者物価指数は、全国の世帯が購入する各種の商品（財・サービス）の価格の平均的な変動を測定するものです。ある時点の世帯の消費構造を基準に、これと同等のものを購入した場合に必要な費用がどのように変動したかを指数値で表しています。

資料：消費者物価指数年報

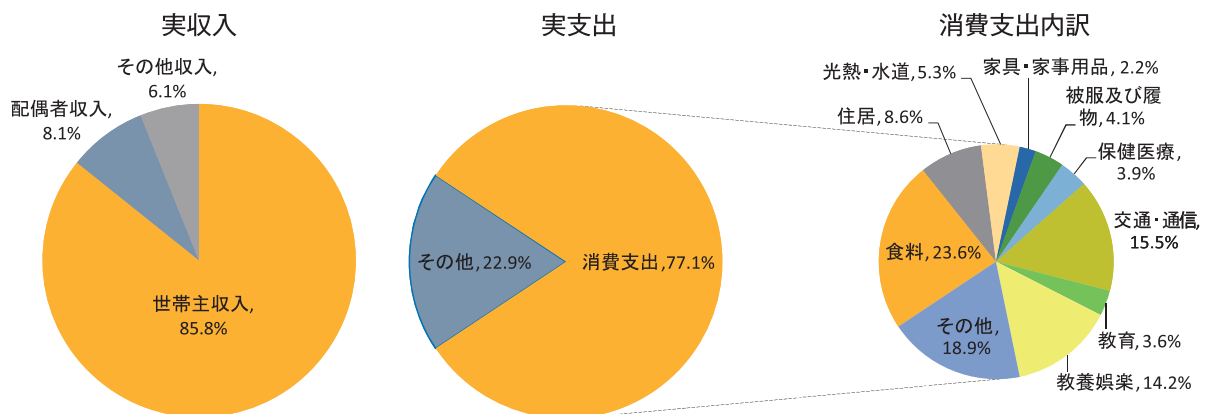
市民所得（分配）の推移



注：1人当たり市民所得とは、ある一定の期間内における経済活動によって、新たに生産された価値（付加価値）を人口一人当たりに換算し、その地域全体の所得水準を明らかにしたものです。

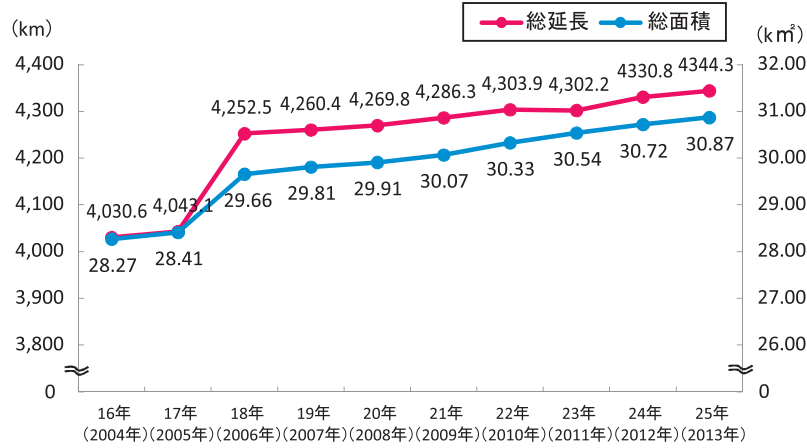
資料：広島市市民経済計算

勤労者一世帯当たり一か月の収入と支出（平成25年平均）



資料：家計調査年報

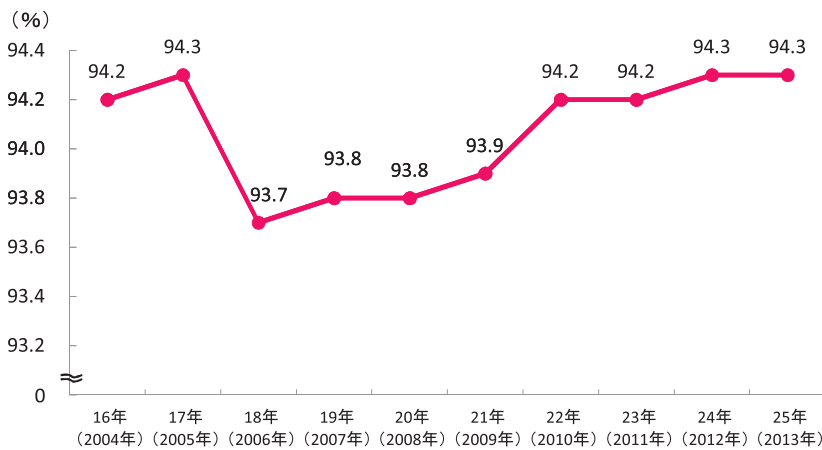
道路総延長、総面積の推移



注：都市高速を除きます。

資料：道路統計年報

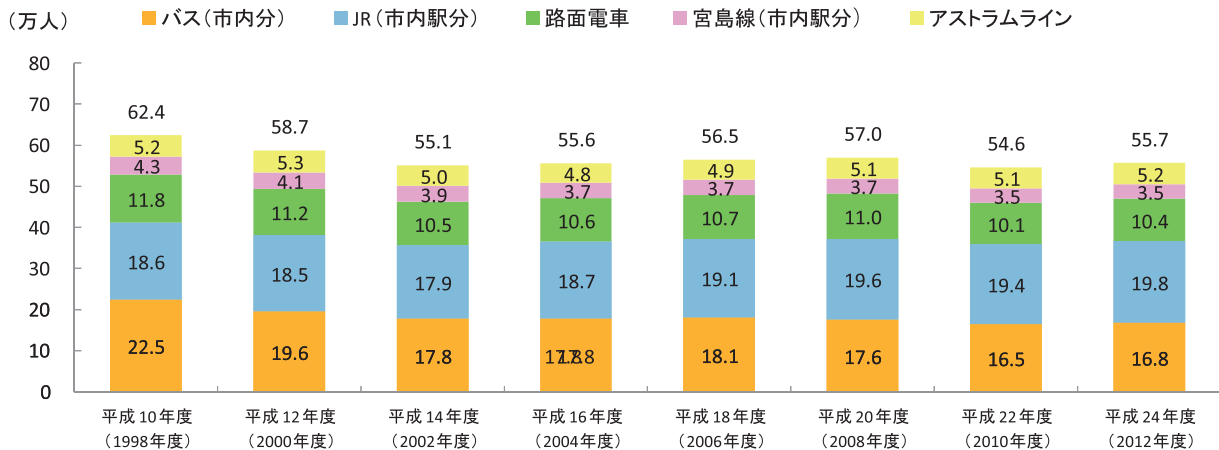
道路舗装率（延長比）の推移



注：都市高速を除きます。

資料：道路統計年報

交通機関別「一日当たり乗車人員」の推移



資料：広島市統計書



広島市の概要

水の木 (クスノキ) 市の花 桜竹桃 (キョウチクトウ) 姉妹 (友好) 都市

ホルンラート市 (アメリカ合衆国) (昭和34年) ノーハー市 (ドイツ連邦共和国) (昭和47年) 重慶市 (中華人民共和国) (昭和61年) 大邱広域市 (大韓民国) (平成9年) モントリオール市 (カナダ) (平成10年) 長崎市 (長崎県) (昭和50年) 広島市の主な位置

東経 132° 41' 30" (佐佐木区白土町井原) 西経 132° 10' 43" (佐伯区湯来町多田) 南緯 34° 17' 49" (南区北島町) 北緯 34° 36' 54" (安佐北区安佐町鈴鹿)

市役所 東経 132° 27' 19" 北緯 34° 23' 07" (中区国泰寺町一丁目6番34号)

面積 (単位: km²) 市域面積 (平成26.10.1) 906.53 中区 15.32 東区 39.42 南区 15.32 西区 35.61 安佐南区 117.24 安佐北区 353.33 安芸区 94.08 佐伯区 225.22

都市圏区域面積 (平成26.3.31) 399.29 市街区域面積 159.84 市街区域調整区域面積 239.45

気象 平均 16.6℃ 最高 36.5℃ (8月13日)

医療機関 (平成25.10.1) 病院 100 (病床 17,352) 診療所 1,341

廃棄物 (平成25年度) 収集量 371,937t 処理量 67,376t

労働 (平成25年平均) 有効求人倍率 1.02 就職率 33.4%

来広島観光客数 (平成25年平均) 1,151万人 (うち外国人観光客 59万人)

施設利用者数 (平成25年度) 広島城/22万人 平和記念資料館/138万人

福祉・衛生・環境事業 社会福祉施設 (平成25.10.1) 児童福祉施設 1 児童福祉施設 317

児童福祉施設 (平成25年平均) 児童福祉施設 1 老人福祉施設 21 身体障害者更生施設 10

知的障害者施設 10 生活保護世帯 (平成25年5月平均) 19,679世帯

原簿死没者名簿奉納簿数 (平成26.8.6) 292,325人

国民健康保険被保険者 (平成26.3.31) 2,770,091人

国民年金被保険者 (平成26.3.31) 263,506人

衛生 受給権者 250,706人

死因別死亡数 (平成25年) 9,655人

悪性新生物 2,853人

心疾患 1,582人

脳血管疾患 795人

その他 4,425人

最低 - 2.2℃ (1月4日) 降水 降水量 1,820.5mm

日照時間 1,820.5mm 日照時間 295mm (9月3日) 日照時間 295mm

日量最大 晴れ 198日 曇り 45日 雨 96日 快晴 26日

人口 (調査地域による) 市制施行 (明治22年) 83,387人 終戦前ピーク (昭和17年) 419,182人

戦後最小人口 (昭和20年) 137,197人 100万人突破 (昭和60年) 1,024,072人

国際調査人口 (平成22年) 1,173,843人 (世帯数 512,907) 最近の人口と世帯 (平成26.9.30)

1,188,315人 男 575,416人 女 612,899人 世帯数 543,399

世帯数 (住民基本台帳) 世帯数 (平成24.2.1) 53,302

商業 (平成24.2.1) 卸売業 571,528人 小売業 3,995人

年間商品販売額 41,838億円 年間商品販売額 5兆8,280億円

小売業 6,483人 年間商品販売額 1兆1,641億円

年間商品販売額 1兆1,641億円 年間商品販売額 1兆1,641億円

年間商品販売額 1兆1,641億円 年間商品販売額 1兆1,641億円

年間商品販売額 1兆1,641億円 年間商品販売額 1兆1,641億円

年間商品販売額 1兆1,641億円 年間商品販売額 1兆1,641億円

年間商品販売額 1兆1,641億円 年間商品販売額 1兆1,641億円

年間商品販売額 1兆1,641億円 年間商品販売額 1兆1,641億円

年間商品販売額 1兆1,641億円 年間商品販売額 1兆1,641億円

年間商品販売額 1兆1,641億円 年間商品販売額 1兆1,641億円

年間商品販売額 1兆1,641億円 年間商品販売額 1兆1,641億円

年間商品販売額 1兆1,641億円 年間商品販売額 1兆1,641億円

年間商品販売額 1兆1,641億円 年間商品販売額 1兆1,641億円

年間商品販売額 1兆1,641億円 年間商品販売額 1兆1,641億円

年間商品販売額 1兆1,641億円 年間商品販売額 1兆1,641億円

年間商品販売額 1兆1,641億円 年間商品販売額 1兆1,641億円

年間商品販売額 1兆1,641億円 年間商品販売額 1兆1,641億円

年間商品販売額 1兆1,641億円 年間商品販売額 1兆1,641億円

年間商品販売額 1兆1,641億円 年間商品販売額 1兆1,641億円

年間商品販売額 1兆1,641億円 年間商品販売額 1兆1,641億円

0~14歳 170,119人 15~64歳 748,293人 65歳以上 269,903人

第3次産業 409,570人 電気・ガス・熱供給・水道業 42,171人 情報通信業 15,579人

運輸業・郵便業 32,361人 卸売業・小売業 109,460人

金融業・保険業 16,038人 不動産業・物品賃貸業 13,486人

学術研究・専門・技術サービス業 20,199人 生活関連サービス業・娯楽業 20,431人

教育・学習支援業 27,227人 医療・福祉 61,515人

複合サービス業 2,850人 公務 33,700人

19,630人 27,681人

中央卸売市場 (平成25年) 取扱金額 879億円

青果物 462億円 (野菜310億円 果実152億円) 水産物 290億円 (肉類64億円 花き63億円)

広島港外国貿易 (平成25年) 輸出額 11,178億円 輸入額 3,060億円

金融 平成25.12.31 預金残高 6兆6,775億円

貸付残高 3兆5,966億円 手形交換高 (平成25年) 5兆2,062億円

市民経済計算 (実質) 3.4% 経済成長率 (名目) 2.4%

市内総生産 (名目) 4兆8,654億円 市民所得 (名目) 3兆6,136億円

市内所得 (名目) 3兆6,136億円 (1人当たり) 市民所得 306万8千円

土木・建築・上・下水道 道路 (平成26.4.1) 延長 4,367km 面積 31.2km²

舗装率 (延長比) 94.3% 橋りょう (平成26.4.1) 115万点

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

24人 製造業 67,965人 建設業 46,793人

3次産業 409,570人 電気・ガス・熱供給・水道業 42,171人

情報通信業 15,579人 運輸業・郵便業 32,361人

卸売業・小売業 109,460人 金融業・保険業 16,038人

不動産業・物品賃貸業 13,486人 学術研究・専門・技術サービス業 20,199人

生活関連サービス業・娯楽業 20,431人 教育・学習支援業 27,227人

医療・福祉 61,515人 複合サービス業 2,850人

公務 33,700人 19,630人 27,681人

中央卸売市場 (平成25年) 取扱金額 879億円

青果物 462億円 (野菜310億円 果実152億円) 水産物 290億円 (肉類64億円 花き63億円)

広島港外国貿易 (平成25年) 輸出額 11,178億円 輸入額 3,060億円

金融 平成25.12.31 預金残高 6兆6,775億円

貸付残高 3兆5,966億円 手形交換高 (平成25年) 5兆2,062億円

市民経済計算 (実質) 3.4% 経済成長率 (名目) 2.4%

市内総生産 (名目) 4兆8,654億円 市民所得 (名目) 3兆6,136億円

市内所得 (名目) 3兆6,136億円 (1人当たり) 市民所得 306万8千円

土木・建築・上・下水道 道路 (平成26.4.1) 延長 4,367km 面積 31.2km²

舗装率 (延長比) 94.3% 橋りょう (平成26.4.1) 115万点

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

24人 製造業 67,965人 建設業 46,793人

3次産業 409,570人 電気・ガス・熱供給・水道業 42,171人

情報通信業 15,579人 運輸業・郵便業 32,361人

卸売業・小売業 109,460人 金融業・保険業 16,038人

不動産業・物品賃貸業 13,486人 学術研究・専門・技術サービス業 20,199人

生活関連サービス業・娯楽業 20,431人 教育・学習支援業 27,227人

医療・福祉 61,515人 複合サービス業 2,850人

公務 33,700人 19,630人 27,681人

中央卸売市場 (平成25年) 取扱金額 879億円

青果物 462億円 (野菜310億円 果実152億円) 水産物 290億円 (肉類64億円 花き63億円)

広島港外国貿易 (平成25年) 輸出額 11,178億円 輸入額 3,060億円

金融 平成25.12.31 預金残高 6兆6,775億円

貸付残高 3兆5,966億円 手形交換高 (平成25年) 5兆2,062億円

市民経済計算 (実質) 3.4% 経済成長率 (名目) 2.4%

市内総生産 (名目) 4兆8,654億円 市民所得 (名目) 3兆6,136億円

市内所得 (名目) 3兆6,136億円 (1人当たり) 市民所得 306万8千円

土木・建築・上・下水道 道路 (平成26.4.1) 延長 4,367km 面積 31.2km²

舗装率 (延長比) 94.3% 橋りょう (平成26.4.1) 115万点

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

橋りょう数 2,957 橋長 57,854 m

河川 (平成25.3.31) 河川数 718本 延長 898.4km

公園 (平成26.3.31) 公園面積 1,167 (955.82ha)

都市公園数 1,167 (955.82ha) 1人当たり都市公園面積 6.06m²

住宅 (平成20.10.1) 577,190戸 持ち家率 52.3% 空家率 13.7%

上・下水道 (平成26.3.31) 上水道普及率 (人口) 97.9%

下水道普及率 (人口) 93.9%

1日当たり乗車人員 (平成25年度) 17.1万人

市内バス (主要11社) 10.6万人

路面電車 35万人

宮島線電車内訳 JR西日本市内駅 20.2万人

(広島駅7.3万人、新川駅1.8万人) アストラムライン (新交通システム) 5.4万人

タクシー・ハイヤー 7.6万人

1日当たり乗客数 5,892人 広島空港 (平成25年) 5,866人

登録自動車数 (平成26.3.31) 66.3万台

乗用車 28.2万台 貨物車 4.7万台 小型二輪 1.5万台

その他 1.4万台

原動機付自転車数 (平成26.4.1) 11.5万台

教育・文化 文化財 (平成26.8.31) 国指定 27 (うち国宝1)

県指定 55 市指定 98

図書館 (平成26.3.31) 市立13館 (蔵書 228万冊)

県立2館 (蔵書 75万冊)

14 政令指定都市 (特選) 都市別主要指標 (大都市比較)

Table with 4 columns: City, Government Office Opening Date, Total Population, Total Number of Buildings. Lists 14 cities including Hiroshima, Yamaguchi, and others.

24人 製造業 67,965人 建設業 46,793人

3次産業 409,570人 電気・ガス・熱供給・水道業 42,171人

情報通信業 15,579人 運輸業・郵便業 32,361人

卸売業・小売業 109,460人 金融業・保険業 16,038人

不動産業・物品賃貸業 13,486人 学術研究・専門・技術サービス業 20,199人

生活関連サービス業・娯楽業 20,431人 教育・学習支援業 27,227人

医療・福祉 61,515人 複合サービス業 2,850人

公務 33,700人 19,630人 27,681人

中央卸売市場 (平成25年) 取扱金額 879億円

青果物 462億円 (野菜310億円 果実152億円) 水産物 290億円 (肉類64億円 花き63億円)

広島港外国貿易 (平成25年) 輸出額 11,178億円 輸入額 3,060億円

金融 平成25.12.31 預金残高 6兆6,775億円

貸付残高 3兆5,966億円 手形交換高 (平成25年) 5兆2,062億円

市民経済計算 (実質) 3.4% 経済成長率 (名目) 2.4%

市内総生産 (名目) 4兆8,654億円 市民所得 (名目) 3兆6,136億円

市内所得 (名目) 3兆6,136億円 (1人当たり) 市民所得 306万8千円

土木・建築・上・下水道 道路 (平成26.4.1) 延長 4,367km 面積 31.2km²

舗装率 (延長比) 94.3% 橋りょう (平成26.4.1) 115万点

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

ひろしま国体 (第51回国民体育大会) 開催 平成22年 (平成22年10月1日)

本書の編集内容について

- 1 本書は、平成 25 年（2013 年）又は平成 25 年度（2013 年度）の統計資料を主として収録し、その他の年（度）の資料は、時系列比較のため掲げています。また、期間は、資料の有無、性質及び編集の都合により適宜伸縮して収録しています。
- 2 数字の単位は原則として各表の右上に掲げていますが、一見して単位が明らかなものは省略しています。また、単位未満は原則として四捨五入しているため、総数とその内訳の合計とは必ずしも一致しません。
- 3 本書に掲載している統計資料のほか、市ホームページでもより詳細な統計資料を掲載していますので、ご利用ください。

広島市ホームページ「人口・統計」

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/genre/1001000001491/index.html>

登録番号	広 C5 - 2014 - 438
名 称	平成 26 年版（2014 年）広島市勢要覧
主 管 課 所 在 地	広島市企画総務局企画調整部企画調整課 広島市中区国泰寺町一丁目 6 番 34 号 (〒 730-8586) TEL (082) 504-2012 (直通)
発行年月日	平成 27 年（2015 年）3 月
印刷会社名	宇品印刷授産場



広島市
Hiroshima City